

「小金井市における市民意識調査」調査報告書

調査実施者： 塩沢 健一（日本学術振興会特別研究員）

スティーブン・R・リード（中央大学総合政策学部教授）

この調査は、小金井市の有権者計2332名（全有権者の約2.5%）を対象として実施したものです。突然の調査票の送付にもかかわらず、調査の趣旨を理解していただき、お忙しい中ご回答くださった多くの市民の皆さまに心より感謝申し上げます。

- * 今回の調査は、純粹に學術目的で実施したものであり、特定の機関からの委託等によって行ったものではない。
- * 集計された回答は、十分な客観性を有しており、研究面においては利用価値の高いものと言える。しかしながら、集計結果そのものについては統計学的な理由により、データに「ひずみ」が生じている場合もある。
- * また、今回の調査の回答率（36.4%）は、この種の調査としては十分満足いくものではあるが、あくまでも全有権者のごく一部の方々のご意見をお伺いしたに過ぎない。以上の理由により、集計結果については「参考程度」ととどめ、くれぐれもご留意いただきたい。
- * 今回の調査は、平成23年度文部科学省科学研究費補助金（特別研究員奨励費）に基づき実施しています。
- * なお、この調査報告書について、ご質問や疑問に思う点などがありましたら、下記までご連絡ください。ただし、本書に掲載された内容以外についてのご質問には、お答えできかねますので、ご了承願います。（Eメールが利用可能な方は、よろしければEメールをご利用ください。）

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学総合政策学部 リード研究室

E-mail: chousa@tamacc.chuo-u.ac.jp（担当：塩沢）

*本調査の目的

今日の我が国は「地方の時代」と言われている。その根拠は、1990年代に始まる地方分権改革の推進によって、地方が独自の判断で行える業務の範囲が拡大したことや、市民による行政への参加の機会が増えつつあること、また、それらの動きとも相まって、「無党派」「改革派」と言われる知事や市長らが各地に登場し注目を集めていることなど、枚挙にいとまがない。しかしながら、そうした地方分権改革・地域主権改革は、全ての地域住民に等しく利益をもたらすものではなく、財政難や少子高齢化など多くの地域に共通する課題もあれば、過疎や過密の問題など各自治体の地域特性に起因する課題もあり、それらを抱える中で各地方自治体は、それぞれの行財政基盤に応じた、身の丈に合った自治体運営を行っていくことが求められていると言える。

ただ、個別の政策課題に目を移せば、首長と議会による意見対立や行政の不作为、あるいは住民同士の利害対立など様々な理由によって、課題の解決が難しくなったり先送りされたりするケースも各地で散見される。本調査において調査対象とした東京都小金井市でも、可燃ごみ処理をめぐる問題や、市庁舎整備をはじめとする公共施設のあり方をめぐる問題が、長きにわたる懸案となっている。これらの問題は、近年我が国においては、都市規模や地域特性を問わず多くの自治体に共通する政策課題と言えるが、課題解決の方向性を見出すためには、地域住民の意思をいかなる形で集約し、政策決定に結び付けられるかということが、一つのカギとなりうる。

小金井市の場合、ごみ問題は、就任後半年余りでの新市長の辞職およびその後の出直し選挙という展開をもたらした。他方、市庁舎整備をめぐることは、住民投票の実施を求める直接請求が行われ、住民投票条例案が議会で小差で否決され投票は実現しなかったものの、その後、新庁舎建設に関する「市民1万人アンケート」が実施され、様々な形で住民参加が図られてきた。この他、ごみ問題に関しては、市による住民説明会等も度々開催されてきた。このように、小金井市民にとっては、市政上の重要課題に対する意思表示の機会を、“それなりに”与えられてきたと言える。

ただ現実には、2011年12月に行われた小金井市の出直し市長選は、ごみ問題が大きな争点としてクローズアップされたものの、候補者が乱立した選挙状況なども影響して、投票率は同年4月の市長選挙よりも伸び悩み、首都圏の市長選挙に共通する投票率の低落傾向が当てはまる結果となった。また住民参加に関しても、働き盛りの世代を多く抱える小金井市のような都市では、参加の意欲はあっても忙しくて時間的余裕がない、転居して間もないため地域のことがよく分からない、などの理由で結果的に住民参加を敬遠するケースは少なくないと思われる。

これらの現実を踏まえて、東京の「多摩地域」という地域特性—すなわち、「都心に通勤し、マンション・アパートなどの集合住宅に暮らし、地域コミュニティとのつながりが相対的に薄い」といった居住年数の浅い市民が多く存在する一方、地域に根差し、地域の歴史とともに暮らし続けてきた昔からの住民も依然として多く、大別してこれら

2つのタイプの市民が混在する地域一の中で、市政における重要課題や住民参加、地方選挙などに対する市民の政治意識や行動について、政治学的な視点から捉え、分析を試みることが本調査の主要な目的となる。

本調査における設問項目は、大きく分けて次の6つに分類できる。すなわち、①ごみ問題をはじめとする市政上の課題②日頃の市政に対する意識や行動③住民参加についての意識や考え④最近の選挙における行動や意識⑤日頃の政治や選挙に対する意識や考え⑥年齢・性別など回答者個人に関すること（社会的属性）一である。本調査では、これらの各項目から得られた回答内容を多面的に捉え、小金井市における「民意」の動態を明らかにすることを目指す。以上のような問題意識のもと、今回の調査では、東京都小金井市を調査地として選定した。

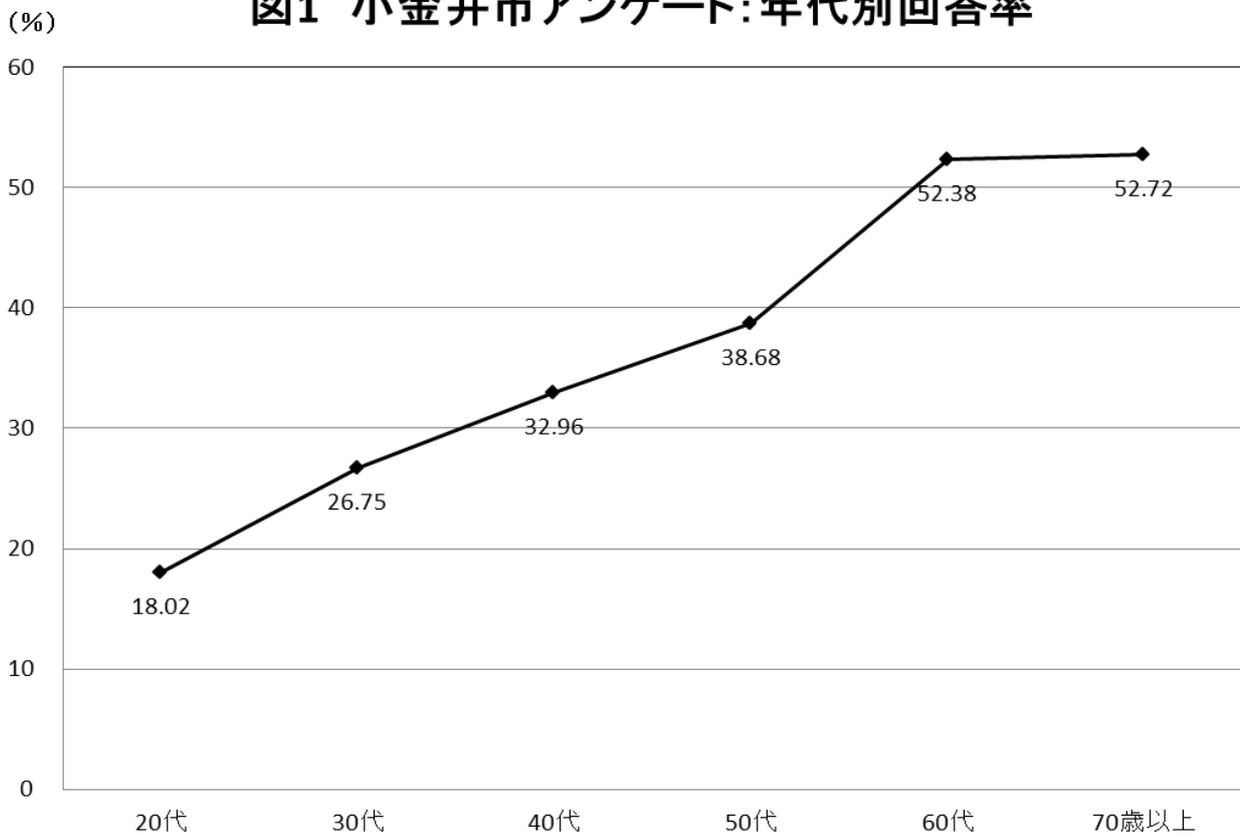
なお、次頁以降に示す調査結果を若干先取りして述べておくと、全体を通してとりわけカギとなる指標は「年齢（年代）」「居住年数」の2つである。各設問においてクロスデータを紹介する際には、この2点に着目した数値を中心に取り上げることをあらかじめ申し上げておく。

1. 年代別の回答状況

郵送調査の場合、若い人ほど調査そのものへの関心度は一般的に低いため、若年層の回答率は低くなってしまふのが普通である（「社会調査へのアプローチ[大谷信介編著]」などを参照）。そのため、各設問の集計結果を見る前に、年代別の回答状況について説明しておきたい。

- * 年代ごとに回答率を見ると、私が過去に実施した調査や一般的な傾向とも合致する形で、やはり年齢層が低くなるほど回答率も伸び悩む結果となった（図1参照）。したがって、各年代の回答者数の割合に関しては、どの年代でも、小金井市における実際の人口構成比とは、やや乖離していると思われる。男女別で見ても、女性の回答がやや多かったため、やはり同様に乖離が見られる。これらのことから、今回の調査結果の解釈には、一定の限界があることを述べておかねばならない。だが一方で、今回の小金井市の調査では、調査対象者2332名の半数以上が20～40代の若年層であったため、その分、有効回答844件に占めるこれら若年層の割合も約4割と比較的高く、その点において十分な価値を有する調査データであることも付記しておく。

図1 小金井市アンケート:年代別回答率



2. ごみ問題について

問1 小金井市では現在、**可燃ごみ処理**をすべて、周辺市や市外の清掃組合に外部委託する形で行っています。あなたはこのことを知っていましたか。

		%	
1	知っていた	818	96.9
2	知らなかった	22	2.6
99	無回答	4	0.5
	合計	844	100.0

問2 あなたは普段の生活の中で、ごみの減量やリサイクルにどの程度取り組んでいますか。一つ選んで○を付けてください。

		%	
1	大いに取り組んでいる	244	28.9
2	ある程度取り組んでいる	535	63.4
3	あまり取り組んでいない	45	5.3
4	ほとんど取り組んでいない	17	2.0
99	無回答	3	0.4
	合計	844	100.0

問3 小金井市ではこれまでに、新ごみ処理施設の建設場所に関する市民説明会が数多く開催されてきたほか、昨年10月には、ごみ処理に関して「緊急・タウンミーティング」も計4回行われました。あなたは、**可燃ごみ処理**に関連するこれらの説明会に、一度でも参加したことがありますか。

		%	
1	参加したことがある	54	6.4
2	参加したことはない	785	93.0
99	無回答	5	0.6
	合計	844	100.0

問4 あなたは今後、長期的に見て、小金井市の可燃ごみをどう処理すべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを一つ選んで○を付けてください。

		%	
1	小金井市内に焼却場を新設する	581	68.8
2	周辺市の既存の清掃組合に加入する	176	20.9
3	周辺市や清掃組合への委託を今後も続ける	13	1.5
4	どの方法でも構わない	43	5.1
5	その他	22	2.6
99	無回答	9	1.1
	合計	844	100.0

小金井市では長年、調布、府中両市と設置した二枚橋衛生組合のもと、3市の境にまたがる二枚橋焼却場で可燃ごみの処理を行ってきたが、施設の老朽化に伴い、2007年3月31日に閉鎖された。それまでの間、焼却場廃止後のごみ処理について、調布市は三鷹市と共同処理、府中市は二枚橋衛生組合以外で一括処理とすることが決定された。

その一方、小金井市では、国分寺市との共同処理を模索することとなったが、周辺住民の反対などもあって新施設建設が頓挫し、2007年度以降、小金井市の可燃ごみについては全量を他市や市外の衛生組合に委託して処理する形が続いている。そうした状況の中、市民のごみ減量に対する意識は高まり、2009年度の環境省統計によれば、人口10万人以上50万人未満の自治体で「一人一日あたりのごみ排出量」が全国最小となった（『東京新聞』2011年12月19日）。後で述べるように、ごみ問題が大きな争点となった昨年12月の市長選では投票率が43.27%と伸び悩んだが、こうした数字には表れないごみ問題への関心度について探るべく、問1～問4の各設問を用意した。

まず問1では、小金井市の可燃ごみ処理の現状について尋ねたが、全量を外部委託で処理していることについて「知っていた」が実に約97%に上り、2006年10月に市から「ごみ非常事態宣言」が発せられて以降の現状については、やはり広く認識されていると言える。

問2では、ごみの減量やリサイクルに対する自分自身の取り組みについて、自己評価を尋ねた。ここでもやはり、「大いに」および「ある程度」取り組んでいるという回答の合計が9割以上に達し、市民のごみ減量・リサイクル意識の高さが改めて裏付けられた。これについて年代別にみていくと、同じ「取り組んでいる」人の中でも、「大いに」と答えた人の割合は年齢とともに上昇し、20、30代では「大いに取り組んでいる」という人は10%台前半にとどまる一方、60代では37.5%、70歳以上では約42%に上る。

続く問3では、ごみ問題に関連する市民説明会への参加経験について質問したが、こちらは前の2問とは対照的に、「参加したことがある」人は6.4%にとどまる。後の設問で尋ねた政治への関心との関連で見ると、参加経験のある人のほぼ全員が、国や地方の政治に「大いに」あるいは「ある程度」関心があると答えた人たちであり、元々政治全般に対する関心が高い人が市民説明会にも参加していることが分かる。また、居住年数との関連では、「参加したことがある」54人のうち約3分の2に上る37人が居住20年以上の人々であり、また彼らの多くは、60歳以上の年配の方々である。すなわち、この種の市民説明会では共通の傾向ということも言えるが、市民の日常生活に密接に関わるごみ問題においても、居住年数の浅い人や若い年代の人は、ほとんどが説明会に足を運ぶということにはなかったことが示された。

また問4では、今後の可燃ごみ処理のあり方について尋ねた。短期的には、市内での処理を数年のうちに開始することは困難なため、「長期的に見て」どうすべきかを答えてもらったが、「小金井市内に焼却場を新設」が最も多く、68.8%に上った。ごみ処理施設の建設をめぐることは、住宅の密集する小金井市内では適地が無いなどの指摘も一部ではあるが、それでもやはり、多くの市民は可燃ごみの「自前処理」を望んでいることが明らかとなった。ただ、この回答について年代別にみると若干の傾向の違いも見られ、20～40代の各年代では「市内に新設」がいずれも60%台前半である一方、

50代以上の年代ではいずれも70%を超えている。「自前処理」に対するこだわりは、年配の層においてより強いということが言える。

なお、問4においては「その他」の意見として、周辺市との市町村合併により解決するというものや、東京都が一括して処理すべきという回答も、それぞれ数件ずつあった。少数意見ではあるが、これらもまた興味深い発想であるため、付記しておく。

3. 庁舎建設および市民交流センターの問題について

問5 小金井市では昨年、**新市庁舎の建設**に関する基本構想が策定されました。その中で、建設場所は「蛇の目ミシン工場跡地」とされましたが、あなたはこれについてどうお考えですか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	適当である	435	51.5
2	適当ではない	139	16.5
3	どちらともいえない	261	30.9
99	無回答	9	1.1
	合計	844	100.0

問6 JR武蔵小金井駅南口にある**市民交流センター**は昨年から利用が開始されましたが、施設を建設した都市再生機構(UR)から小金井市への引き渡しがされておらず、市議会でもたびたび議題となっています。あなたは、この問題の詳細についてどの程度知っていますか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	詳細に知っている	31	3.7
2	ある程度知っている	403	47.7
3	あまり知らない	230	27.3
4	全く知らない	180	21.3
99	無回答	0	0.0
	合計	844	100.0

現在の小金井市本庁舎は1965（昭和40）年に建てられたが、その後、手狭になり老朽化も進んだことから、1986（昭和61）年頃から庁舎の建設構想が検討され始めた。だが、建設位置が二転三転する中、1994（平成6）年1月から「仮庁舎利用」として賃借契約による利用が開始された第二庁舎が、現在では市民の大半が利用する庁舎となっており、この「リース庁舎」の問題もまた、庁舎の分散化の解消などとともに、新庁舎建設をめぐる大きな論点の一つとなっている。

一方、市民交流センターについては、2010年12月に建築工事が完了し、昨年から利用が開始されたものの、独立行政法人都市再生機構（UR）と市との間で登記上の問題が浮上し、URが交流センターの暫定的な管理・運営を行う状態がしばらく続いていた。（なお、本調査の開始直前にあたる本年2月9日に市民交流センターの取得議案が市議会でも可決され、同3月1日から小金井市の公の施設となった。調査票印刷の段階ではこの経緯について把握できておらず、問6のような設問文となっている。）

まず問5では、長年の検討過程の中で、庁舎建設候補地として一度は立ち消えとなった「蛇の目ミシン工場跡地（中町3丁目）」を建設場所とすることについて、その妥当性を尋ねた。単純集計においては、「適当である」とする回答が全体の半数を超えており、「適当ではない」と比較すると3倍以上に達している。他方、「どちらともいえない」との回答も約3割に上るが、年代別でみると、若い人ほど「どちらともいえない」と答

える傾向が見られ、60代および70歳以上では20%強にとどまる一方、20、30代では40%を超える。また居住年数から見た場合にも、居住4年未満の人の中では、「どちらともいえない」と回答した割合は半数を超えている。したがって、新庁舎の建設場所を蛇の目ミシン工場跡地とすることに関しては、概ね市民の支持を得られているが、若者や新住民にとっては明確な判断が出来ないか、あるいは単純に関心が無い、ということが言えそうである。

続く問6では、市民交流センターをめぐる問題について、詳細をどの程度知っているかを尋ねた。詳細に知っている人は少ないものの、「ある程度知っている」と合わせると半数強に上り、この問題に関する認識も市民の間でそれなりに浸透していたと言える。また前問と同様に、年代や居住年数に比例して「知っている」人の割合は増加するという傾向を、ここでも明確に読み取ることができる。

4. 市政に関する情報の取得状況、今後の財政見通し

問7 あなたは普段、月2回発行されている市の広報「市報こがねい」をどの程度読んでいますか。一つ選んで○を付けてください。			
			%
1	毎号必ず読む	464	55.0
2	時々読む	262	31.0
3	あまり読まない	89	10.5
4	全く読まない	29	3.4
99	無回答	0	0.0
	合計	844	100.0

問8 あなたは普段、小金井市ホームページをどの程度閲覧していますか。一つ選んで○を付けてください。			
			%
1	週1回以上	10	1.2
2	月に2～3回程度	42	5.0
3	月1回程度	85	10.1
4	数カ月に1回以下	356	42.2
5	インターネットは利用していない	345	40.9
99	無回答	6	0.7
	合計	844	100.0

問9 では、あなたは普段、市政に関する情報をどの程度得られていると感じていますか。一つ選んで○を付けてください。			
			%
1	十分得られている	5	0.6
2	ある程度得られている	290	34.4
3	どちらともいえない	222	26.3
4	やや不十分	197	23.3
5	不十分	126	14.9
99	無回答	4	0.5
	合計	844	100.0

問10 あなたは、小金井市の今後の財政の見通しについて、どのようにお考えですか。この中から一つ選んで○を付けてください。			
			%
1	特に問題はない	7	0.8
2	それほど問題はない	23	2.7
3	どちらともいえない	109	12.9
4	ある程度心配である	343	40.6
5	大いに心配である	359	42.5
99	無回答	3	0.4
	合計	844	100.0

問7～問9では、市報こがねい、小金井市ホームページのそれぞれについて閲覧の頻度を尋ねるとともに、市政に関する情報をどの程度得られていると感じているかを質問している。また問10では、小金井市の今後の財政見通しについて考えを尋ねている。

問7から見ていくと、市の広報「市報こがねい」について「毎号必ず読む」という人が全体の半数を超え、「時々読む」と合わせると86%の人が比較的頻繁に目を通してることが分かる。一方問8では、市のホームページを閲覧する頻度は「週1回以上」「月に2～3回程度」「月1回程度」を合計しても約16%にとどまり、インターネットを利用していない人も約4割に上る。すなわち、市政や市民生活に関する情報源として、市の広報は特に重要なものである一方、市のホームページは、現状ではあくまでも補完的な役割を果たすものであると言える。

他方、問9の回答結果を見ると、市政に関する情報について、「十分得られている」との回答はわずかで、「ある程度」と合計しても35%にとどまる。情報源としては他にも、新聞・テレビなどのマスメディアやウェブサイト、近所の人達との会話や地元議員による「議会だより」のようなものが考えられるが、例えば、多くの人の目に触れる新聞やテレビのニュースなどでは、どうしても国政や都政に関する話題が中心となり、市政に関する情報を得る機会に限られていると言える。こうしたことも、問9の回答結果にある程度まで影響しているものと思われる。つまり、問7の集計結果と併せて考慮すると、「市報こがねい」は市民に広く読まれてはいるものの、市政に関する情報源として果たしている役割は、現状においては限定的であると言えるだろう。

小金井市の今後の財政見通しについては、悲観的な見方をしている市民がかなり多いことが問10の結果から読み取れる。「大いに」と「ある程度」を合わせると全体の8割以上が心配であると答えている。財政指標で確認すると、財政の豊かさを示す財政力指数は平成22年度で1.12と全国的に見てもかなり高く、平成16～22年度までは地方交付税の不交付団体であった。一方で、本調査の自由回答などでも記述があったように、小金井市では職員給与の水準の高さがかねてより指摘されており、歳出総額に占める人件費の割合を示す人件費比率は、平成22年度で19.9%と多摩地域の26市の中では狛江市と並んで最も高い。ここ数年の間に駅前再開発が急速に進んだことなどと併せて、市財政の現状を不安視する向きが強かったと考えられる。加えて、小金井市の周辺には、府中市、調布市、武蔵野市など財政的により豊かな隣接自治体があるため、周辺市との比較において今後の市財政を悲観的に捉える傾向もあるようである。なお、年代別でみると、「大いに心配」と答えた割合は40、50代で最も高く、いずれも5割を超えるという傾向も見られた。

5. 市民参加の経験および参加意欲

問11 小金井市では平成16年4月1日から「小金井市市民参加条例」を施行し、市民の市政への参加と協働に関する手段を制度化しています。これに関連して、いくつかお尋ねします。

[1] あなたは、以下に挙げたような手法による市民参加の経験は(過去の居住地での経験を含めて)ありますか。また、今後機会があれば参加してみたいと思いますか。①～⑤のすべての項目への参加経験、参加意欲のそれぞれについて 一つずつ選んで○を付けてください。

①審議会などの公募委員

		【参加経験】		%	
1	参加したことがある	19	2.3		
2	参加したことはない	745	88.3		
99	無回答	80	9.5		
	合計	844	100.0		

		【参加意欲】		%	
1	参加してみたい	64	7.6		
2	やや参加してみたい	153	18.1		
3	あまり参加したくない	342	40.5		
4	参加したくない	238	28.2		
99	無回答	47	5.6		
	合計	844	100.0		

②市民アンケート(※この調査以外で)

		【参加経験】		%	
1	参加したことがある	271	32.1		
2	参加したことはない	498	59.0		
99	無回答	75	8.9		
	合計	844	100.0		

		【参加意欲】		%	
1	参加してみたい	260	30.8		
2	やや参加してみたい	294	34.8		
3	あまり参加したくない	183	21.7		
4	参加したくない	56	6.6		
99	無回答	51	6.0		
	合計	844	100.0		

③市民の提言制度(パブリックコメント)			
【参加経験】			％
1	参加したことがある	36	4.3
2	参加したことはない	718	85.1
99	無回答	90	10.7
	合計	844	100.0
【参加意欲】			％
1	参加してみたい	100	11.8
2	やや参加してみたい	269	31.9
3	あまり参加したくない	313	37.1
4	参加したくない	111	13.2
99	無回答	51	6.0
	合計	844	100.0
④市民投票(住民投票)			
【参加経験】			％
1	参加したことがある	155	18.4
2	参加したことはない	600	71.1
99	無回答	89	10.5
	合計	844	100.0
【参加意欲】			％
1	参加してみたい	338	40.0
2	やや参加してみたい	248	29.4
3	あまり参加したくない	150	17.8
4	参加したくない	63	7.5
99	無回答	45	5.3
	合計	844	100.0
⑤無作為抽出による市民討議会			
【参加経験】			％
1	参加したことがある	15	1.8
2	参加したことはない	745	88.3
99	無回答	84	10.0
	合計	844	100.0
【参加意欲】			％
1	参加してみたい	74	8.8
2	やや参加してみたい	174	20.6
3	あまり参加したくない	356	42.2
4	参加したくない	195	23.1
99	無回答	45	5.3
	合計	844	100.0

地方分権改革が本格化し始めたのと時を同じくして、我が国では、自治体運営の基本方針を定めた「自治基本条例」を制定する動きが各地で広まっていった。自治体によって名称は異なり、小金井市では「市民参加条例」とされているが、同様の条例を持つ全国の自治体の中でも、比較的早い時期に整備されたと言える。現在でも多くの自治体で、自治基本条例の制定をめぐる検討が行われているが、ただ、本報告書の冒頭にも記したように、日々の生活に忙しいために、市民参加の意欲はあっても実際にはできないという人は少なくないと思われ、とりわけ都心に通勤する者のベッドタウンとしての性格も持つ小金井市のような都市では、そうした傾向は相対的に強いと考えられる。

その点も踏まえ、まず〔1〕では市政への市民参加の方法として、①審議会などの公募委員、②市民アンケート、③市民の提言制度（パブリックコメント）、④市民投票（住民投票）、⑤無作為抽出による市民討議会の5種類を列挙し、それぞれについて参加経験の有無と、参加意欲について尋ねた。

参加経験については、市民アンケートで「参加したことがある」の割合が比較的高いほうではあるが、全体的に参加経験のある人は少ないと言える。しかし一方で、参加意欲については、市民アンケートと市民投票（住民投票）で「参加してみたい」と「やや参加してみたい」の合計が半数を大きく超え、残る3項目でも、参加経験者の少なさに比べれば、市民の参加意欲は極端に低いというわけではないことが分かる。これらの回答を年代別で見ると、参加経験については全体的に、年齢層が上がるとともに経験者の割合も増加する傾向がクロスデータから確認できるのだが、参加意欲に関してはどの項目でも、年齢層による偏りは見られない。したがって、既述のような「参加したいが、結果として出来ていない。」という人たちが小金井市民の中にも一定程度おり、市民投票や市民討議会のように、小金井市ではこれまで実施されたことの無い項目を別としても、結果として、定年退職者や子育てが一段落した人など時間に余裕ができた人に、参加経験者が偏っていると見えそうである。

6. 小金井市における市民参加の現状、住民投票について

- [2] 行政への市民参加のあり方として、次の二つのケースがあるとして、
 「A: 特定の集団・階層にかたよらず、広範な市民の参加が実現されている」
 「B: 意欲・関心のある一部の人々の参加にとどまっている」
 小金井市における市民参加の現状は、A・Bどちらに近いと思いますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

			%
1	Aに近い	27	3.2
2	どちらかといえばAに近い	25	3.0
3	どちらかといえばBに近い	283	33.5
4	Bに近い	375	44.4
5	わからない	126	14.9
99	無回答	8	0.9
	合計	844	100.0

- [3] 小金井市では平成21年1月に、当時の新市庁舎建設計画に対し、賛否を問う**住民投票の実施を求める直接請求**が行われ、条例案が議会で小差で否決されました。あなたはこのとき、署名をしましたか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	署名をした	117	13.9
2	署名はしなかった	366	43.4
3	当時、有権者ではなかった	106	12.6
4	覚えていない	238	28.2
5	答えたくない	6	0.7
99	無回答	11	1.3
	合計	844	100.0

- [4] 小金井市で3年前からスタートした**市民投票制度**では、一定割合以上の署名が集まれば、議会の議決なしに市民投票を実施できる規定が設けられています。では、小金井市において住民投票になじむ政策課題は、どのようなものだと思いますか。次の中から、あてはまるもの全てに○を付けてください。

			%
	庁舎の建設	520	61.6
	公共施設の管理・運営	236	28.0
	まちづくり・都市開発	344	40.8
	ごみ処理をめぐる問題	642	76.1
	市民税の減税や市債の発行	168	19.9
	その他	21	2.5
	住民投票は行うべきではない	37	4.4
99	無回答	38	4.5
	合計	844	100.0

前頁でも述べたように、行政への市民参加はしばしば、特定の集団や階層に偏りがちなものである。[2] ではこの点について市民自身がどう認識しているかを尋ねたが、やはり「B: 意欲・関心のある一部の人々の参加にとどまっている」と考える人が、「どちらかといえば」も含めると全体の8割弱にまで上る。市民参加のあり方に関しては、各自の価値観などによってもさまざまな捉え方があるため、「一部の人々の参加」とい

うことが、市民参加に対する否定的な評価に必ずしも即座に結びつくというものではない。市民参加そのものを否定的に捉える視点から、広範な市民を参加させることが議会の形骸化につながる、などといった議論があるのも事実である。ただ、小金井市の市民参加の現状は、同市の市民参加条例や同種の自治基本条例が一般的に目指すところからすれば、依然としてほど遠いものであると認識されていると言える。

他方で、通常の選挙と類似の形式で行われ、個別の政策に対して有権者が一票を投じることができるのが住民投票である。小金井市では2009年1月に、市庁舎建設の是非をめぐる市民グループが住民投票条例制定を求めて直接請求を行い、市議会臨時議会で1票差で否決されたという経緯があり、同年3月の臨時議会で住民投票制度が可決された。また、佐藤和雄前市長は市民交流センターの取得をめぐる、住民投票を行うことを公約に掲げて当選したこともあり、在任中に投票実施を目指したが、結局実現しなかった。住民投票制度では、市政の重要事項について、投票資格者総数の100分の13以上の署名をもって住民投票の実施を請求することができ、前述のような住民投票をめぐる経緯もあり、小金井市ではいずれ、何らかの形で住民投票が実現する可能性も多分にあるものと思われる。

[3]では、当時の直接請求を求める署名活動に対して署名をしたかどうかを尋ねたが、当時実際に集まった署名数は、有権者の8分の1程度に相当する約1万人分であったことから、ここでの集計結果は概ね実態を反映したものとなっていると言える。なお、年代別や居住年数別などのクロスデータにおいては、特に目立った傾向は見られなかった。

続く[4]では、小金井市において住民投票になじむ政策課題について、近年の市政における重要課題なども踏まえながら選択肢を用意し質問したが、最も回答が多かったのは「ごみ処理をめぐる問題」で、全体の約4分の3に上る。小金井の住民投票制度では、投票対象から除外される事項の一つとして「特定の地域に廃棄物処理施設等の嫌悪施設を立地させる事項」が挙げられているため、例えば、旧二枚橋焼却場跡地に新たな施設を建設することの是非について、住民投票を実施することは不可能と思われる。だが、ごみ処理をめぐる全体的な方向性について投票にかけることは可能であると解釈できるため、選択肢に含めたものであるが、やはり喫緊の課題であるごみ処理の問題に対しては、直接の意思表示ができる機会を多くの市民が求めていると捉えることができる。これを年代別で見ても、全ての年代で「ごみ処理をめぐる問題」を選択した人の割合は7割を超えるが、唯一20代で、その割合は9割近くにまで達しており、この問題を住民投票にかけることが妥当であると考え人は、若年層において特に多いと言える。

7. 市の行政に対する満足度・市長に対する評価

問12 あなたは、小金井市の行政サービスに対してどの程度満足していますか。
一つ選んで○を付けてください。

			%
1	大いに満足	3	0.4
2	ある程度満足	155	18.4
3	どちらともいえない	308	36.5
4	やや不満足	261	30.9
5	大いに不満足	107	12.7
99	無回答	10	1.2
	合計	844	100.0

問13 あなたは、稲葉・小金井市長の昨年4月までの3期12年の業績をどのように評価しますか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	大いに評価できる	18	2.1
2	ある程度評価できる	149	17.7
3	どちらともいえない	221	26.2
4	あまり評価できない	266	31.5
5	全く評価できない	184	21.8
99	無回答	6	0.7
	合計	844	100.0

問14 昨年4月に初当選した佐藤和雄・前市長は、可燃ごみ処理をめぐる問題の責任を取る形で辞職しました。この問題に関して、佐藤前市長にはどの程度責任があるとお考えですか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	大いに責任がある	244	28.9
2	ある程度責任がある	264	31.3
3	どちらともいえない	113	13.4
4	あまり責任はない	148	17.5
5	全く責任はない	70	8.3
99	無回答	5	0.6
	合計	844	100.0

市の行政に対する満足度や新旧市長に対する評価を尋ねた問12～問14の三問では、市のトップリーダーや行政全般に対して、多くの市民が厳しい見方をしていることが示された。まず、市の行政サービスに対する満足度を尋ねた問12では、「大いに」と「ある程度」を足し合わせると、満足している人の合計が2割弱にとどまる一方、不満足であるという回答の合計は4割強に上る。続く問13では、昨年12月の出直し市長選で振り返りを果たした稲葉市長の、前任時までの3期12年の業績についてどう評価するかを尋ねたが、やはり問12と概ね似たような回答傾向が見られ、「評価できる」の合計は2割弱、

「評価できない」の合計は5割強という結果となった。また、問14の集計結果を見ると、佐藤前市長に対する市民の見方はより厳しいことが分かる。前の2問は総合的な満足度や評価を尋ねているのに対し、ここでは可燃ごみ処理という個別の問題に対する佐藤の責任について質問しているため、これらを単純に比較することはできないが、「責任はない」の合計は約26%にとどまる一方で、「責任がある」の合計は約6割に達している。佐藤に対しては「議会や周辺市が協力的でなかった」などの同情論も少なくないものの、現職候補を破る形で新たな市長が誕生し、市民の期待も高まった後にわずか半年余りでの辞職という結果となったことへの失望感が、やはり問14の結果にもストレートに表れていると言えるだろう。

なお、これら三問の集計結果についてクロスデータを確認してみると、年齢や居住年数などとの間には明示的な傾向を読み取ることはできない。ただ、各設問間のクロスデータで見ると、まず問12と問13、つまり行政に対する満足度と稲葉市長に対する業績評価との間には、明確な相関関係があると言える。一方、問14とのクロスデータからは、市の行政に満足している人や稲葉市長を評価している人については、大半が佐藤前市長の責任を重く見ている一方、行政に不満がある人や稲葉市長を評価できないとした人々の間では、ごみ問題に対する佐藤の責任について見方が二分される、という関係性も確認された。

8. 出直し市長選挙について

問15 最近行われた選挙についてお尋ねします。

[1] あなたは昨年12月18日に行われた小金井市長選挙で投票しましたか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	投票した(期日前・不在者投票を含む)	583	69.1
2	投票しなかった	259	30.7
99	無回答	2	0.2
	合計	844	100.0

[2] 問15[1]で「1. 投票した」と答えた方にお聞きます。市長選挙では、どの候補者に投票しましたか。さしつかえなければ、一つ選んで○を付けてください。

			%
1	稲葉孝彦 (無所属・元職 自民・公明推薦)	193	22.9
2	斎藤康夫 (無所属・新人 元市議)	181	21.4
3	野村 隆 (無所属・新人 元自治省企画官)	123	14.6
4	小泉民未嗣 (無所属・新人 共産推薦)	34	4.0
	非該当	261	30.9
99	無回答	52	6.2
	合計	844	100.0

昨年4月の市長選挙で、「草の根選挙」で臨んだ新人の佐藤和雄が、現職候補であった稲葉孝彦をおよそ2千票上回る1万8千票余を獲得して初当選を果たした。しかし、可燃ごみ処理の委託費用について「4年間で20億円のムダ使い」などと主張したことが、小金井市のごみ処理を支援してきた周辺市長の反発を招き、就任当初から周辺市との関係がこじれた結果、新たなごみの受け入れ先が見つからず、同年11月半ばには収集停止に陥る可能性に直面した。最終的に、佐藤が市長を辞職するのと引き換えに周辺市が受け入れを表明する形となり、可燃ごみの収集停止という事態は回避された。ただ、その後の出直し市長選では、落選して間もない稲葉の再出馬や、「反稲葉」の候補が乱立した選挙構図などもあって、市民のごみ問題に対する意識は市長選挙の関心には直結せず、12月の出直し選挙では4月の選挙の投票率46.16%をさらに3ポイントほど下回る投票率に終わった。また、出直し選挙では元職の稲葉が振り返りを果たしたが、稲葉の得票数は落選した4月の選挙時よりも2千票余減らしており、必ずしも市民の積極的な支持によって選ばれたというわけではない、という側面もあることがうかがわれる。

それらのことも踏まえて見ていくと、まず投票したかどうかを単純集計で見た場合には、実際の投票率より25ポイント余り上回っているが、この種の調査では一般的に、元々関心の低い方から回答を得るのは簡単なことではなく、私が過去に実施した調査においても同様の傾向が見られることから、上記の数字は調査データとしては概ね許容範

困と言える。なお、調査にご協力いただけなかった方も含め、今回の調査対象者2332名を分母として計算すると、この設問で「投票した」と答えた人の割合は、ちょうど25%となる。

次に、どの候補者に投票したかについては、実際の得票数との対比で考えると、稲葉に投票した人の回答数が若干少ないように思われるが、概ね各候補の現実の得票状況を反映した比率となっている。年代別および居住年数別の回答状況を確認しておく、ここでの特徴としては、年代別では、回答数の少ない20代の投票者を別にして見ると、稲葉に投票したと答えた割合は年齢に比例して上昇し、逆に斎藤に投票したという回答の割合は年齢と反比例の関係にあることが挙げられる。すなわち、稲葉を選んだ有権者は30代では各年代の中で最も低い約14%で、年代が上がるにつれてその割合は上昇し、70歳以上で約49%と最も高くなっている。一方、出直し選挙では次点だった斎藤への投票割合は、30代で約45%と最も高く、年代が上がるにつれて低下し、70歳以上では約16%と最も低い値となる。これと似た傾向は居住年数別で見た場合にも確認でき、居住年数の長い人ほど稲葉に、逆に居住年数の短い人ほど斎藤に投票する傾向が表れた。稲葉、斎藤の両名については、年齢層や居住年数による投票傾向の違いがかなり明確に表れたと言える。他方で、出直し選挙で3番手に終わった野村に関しては、年代や居住年数によらず、投票した人の割合は概ね一定であり、また最下位であった小泉については回答者数が少ないため、何らかの明確な傾向を見出すことは難しい。

9. 各候補への投票および棄権の理由

また、その候補者に投票した理由も具体的にお聞かせください。 ※自由回答形式

【稲葉孝彦・投票理由】		%	
ごみ問題を責任を持って解決してほしいから	42	21.8	
消去法で選んだ	35	18.1	
前任時の実績や安定感を評価して	30	15.5	
これまでの経験や人脈に期待して	29	15.0	
人柄が良く信頼できる	14	7.3	
その他	13	6.7	
無回答	61	31.6	
合計	193	100.0	

【斎藤康夫・投票理由】		%	
稲葉氏に不満があったから	58	32.0	
消去法で選んだ	25	13.8	
ごみ問題を解決してほしいから	25	13.8	
市議の経験があり市政を把握しているから	25	13.8	
人柄や経歴から信頼できる	21	11.6	
市を変えてくれそうだから	20	11.0	
政策や公約に共感したから	14	7.7	
その他	1	0.6	
無回答	51	28.2	
合計	181	100.0	

【野村隆・投票理由】		%	
元官僚の経験を活かしてほしいから	28	22.8	
稲葉氏に不満があったから	26	21.1	
ごみ問題を解決してほしいから	17	13.8	
市を変えてくれそうだから	15	12.2	
しがらみの無さに期待して	14	11.4	
消去法で選んだ	13	10.6	
政策や公約に共感したから	8	6.5	
その他	3	2.4	
無回答	34	27.6	
合計	123	100.0	

【小泉民未嗣・投票理由】		%	
政策や公約に共感したから	7	20.6	
他の候補を支持できないから	6	17.6	
若さに期待して	5	14.7	
市を変えてくれそうだから	5	14.7	
共産党に期待しているから	4	11.8	
その他	2	5.9	
無回答	12	35.3	
合計	34	100.0	

[3] 問15[1]で「2. 投票しなかった」と答えた方にお聞きます。あなたが投票しなかったのは、どのような理由からですか。次の中から、あてはまるもの全てに○を付けてください。

		%	
	用事・仕事があったから	97	37.5
	健康上の理由から	18	6.9
	投票に行くのが面倒だったから	26	10.0
	市長選挙に関心がなかったから	28	10.8
	自分が支持する候補者が当選しそうになかったから	14	5.4
	どの候補者が良いかよく分からなかったから	86	33.2
	自分一人が投票してもしなくても同じだから	29	11.2
	投票日を忘れていたから	22	8.5
	その他	30	11.6
99	無回答	2	0.8
	合計	259	100.0

各候補に対する投票理由については、まずは当然のことながら、ごみ問題に関する言及が多いという点が最大の特徴として挙げられる。当選した稲葉の投票理由として最も多かったのが「ごみ問題」であり、責任を持って取り組んでほしい、最後までやり遂げてほしい、といった意見であった。ごみ問題と関連づける形で「経験や人脈を活かしてほしい」「現状を一番よく把握している」などの回答も散見され、ごみ問題をめぐる「現実的な選択」として稲葉が選ばれたというのが、今回の出直し選挙に関する妥当な捉え方になると思われる。この他、ごみ問題に対する直接の言及は無くても、後の設問でも示すように、ごみ問題を重視して投票行動を決定した有権者が多数いたことは間違い無いであろう。

ただ、その一方で、投票理由に関して各候補に共通して挙げられるもう一つの特徴としては、「消去法で選んだ」といったような、消極的な選択の結果であったとする回答が目立つことである。これは[3]の投票しなかった理由とも大いに関連性を持つものであり、「どの候補者が良いかよく分からなかったから」とする棄権理由は、「用事・仕事があったから」に次いで二番目に多く、他の理由と比べてもやや抜きん出ていると言える。また、投票した理由の記述欄を無回答とした3割前後の人々に関しても、その多くは、各候補を支持する積極的な理由が見出せないから空欄とした可能性が考えられる。それらのことも含めて考慮すると、今回の選挙では、どの候補に投票した有権者にしても、各氏のごみ問題に対する訴えや人柄、経歴等を積極的に評価して投票した人ばかりではないという指摘が成り立ちうる。前市長の辞職に伴う選挙で準備期間が短く、各候補の訴えが有権者に十分浸透しなかったという事情もあるだろうが、有権者にとって魅力的に映る候補者が出揃わなかったということも、ごみ問題に対する注目度の高さの割に投票率が伸び悩んだ要因の一つと言えるだろう。

10. その他の選挙、市長選でゴミ問題をどの程度重視したか

[4] あなたは、昨年4月24日に行われた小金井市長選挙では、どの候補者に投票しましたか。または投票しませんでしたか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	佐藤和雄（無所属・新人）	349	41.4
2	稲葉孝彦（無所属・現職）	185	21.9
3	橋詰雅博（無所属・新人）	43	5.1
4	投票しなかった	193	22.9
5	当時、有権者ではなかった	30	3.6
99	無回答	44	5.2
	合計	844	100.0

[5] ではあなたは、小金井市長選挙の際に、可燃ゴミ処理をめぐる問題のことをどの程度重視しましたか。昨年12月と4月の市長選挙それぞれについて、一つずつ選んで○を付けてください。

【昨年12月の市長選挙に際して】			%
1	かなり重視した	385	45.6
2	ある程度重視した	251	29.7
3	どちらともいえない	82	9.7
4	あまり重視しなかった	38	4.5
5	全く重視しなかった	15	1.8
99	無回答	73	8.6
	合計	844	100.0

【昨年4月の市長選挙に際して】			%
1	かなり重視した	345	40.9
2	ある程度重視した	239	28.3
3	どちらともいえない	86	10.2
4	あまり重視しなかった	56	6.6
5	全く重視しなかった	15	1.8
	非該当	30	3.6
99	無回答	73	8.6
	合計	844	100.0

[6] 2009年の衆議院議員選挙では、どの候補者・政党に投票しましたか。小選挙区（東京18区）については一つ選んで○を付け、比例代表については投票した政党名を[]内に記入してください。

【小選挙区】			%
1	菅直人（民主）	414	49.1
2	土屋正忠（自民）	162	19.2
3	小泉民未嗣（共産）	31	3.7
4	森香樹（幸福実現）	4	0.5
5	投票しなかった	109	12.9
6	当時、有権者ではなかった	64	7.6
99	無回答	60	7.1
	合計	844	100.0

【比例代表】		%	
1	民主党	336	39.8
2	自由民主党	127	15.0
3	公明党	18	2.1
4	日本共産党	43	5.1
5	社会民主党	7	0.8
6	国民新党	1	0.1
7	みんなの党	26	3.1
8	新党日本	1	0.1
9	幸福実現党	3	0.4
0	投票しなかった	100	11.8
66	当時、有権者ではなかった	10	1.2
99	無回答	172	20.4
	合計	844	100.0

〔4〕の単純集計においては、実際の選挙における得票状況と比べて、佐藤に投票したと答えた人の比率がかなり高いと言える。これは特に本調査の意図するところではないが、当時の佐藤に対する期待感から投票した人の多くが、今回の調査にもとりわけ関心を持ってくださったということの表れと考えられる。

出直し選挙に関する集計結果との間でクロスデータを見ると、投票参加との関係では、4月の前回選挙で3氏に投票した人のうち、出直し選挙で「投票しなかった」と答えた割合が1割弱と最も低かったのが稲葉に投票した人で、2割弱と最も高かったのが佐藤に投票した人であった。棄権者の回答が少ないため、あくまで参考程度のデータとなるが、佐藤に投票し市を変えてくれることに対する期待が大きかった人ほど、その後のごみ問題をめぐる経過の中で失望し、出直し選挙における投票意欲を失ったことを示唆するものと言える。また、投票先に関するクロスデータでは、2回続けて稲葉に投票した人の割合は、4月の選挙で同氏に票を投じたと答えた人の8割弱となっており、一方、前回佐藤に投票した人では、斎藤に4割弱、野村に2割強という形で、やはりこの両者を中心に前回の佐藤票が出直し選挙において分散したことが分かる。

続いて〔5〕では、昨年2度行われた市長選挙において、ごみ問題のことをどの程度重視したかを尋ねている。12月の出直し選挙と佐藤が当選した4月の選挙のいずれにおいても「重視した」と答えた割合は高く、「かなり」と「ある程度」を足し合わせると、いずれの選挙でも7割前後の人が可燃ごみ処理の問題を重視していたことが読み取れる。この数字は、投票を棄権した人の回答も当然含むものであり、出直し選挙で「投票しなかった」と回答した259人の中でも、ごみ問題を重視したと答えた人の割合は合計で4割強に上る。つまりこのことは、ごみ問題を一つの重要な判断基準として投票するか否かを検討した挙句、いずれの候補者にも投票する価値を見出せずに棄権した、という有権者が一定程度存在していたことを示唆するものであり、ごみ問題に対する関心度と選挙に対する関心度が一致するものではないことを表していると言える。

[6]では、政権交代が起こった2009年の衆議院議員選挙での投票行動について尋ねたが、小金井市政や市長選挙と一見無関係に見える国政選挙に関しての設問を設けたのは、2009年当時の民主党や菅直人に対する期待と、昨年的小金井市における佐藤和雄への期待に、何らかの類似性があるのではないかと考えたためである。そうした観点から、両者に対する支持の関連性について見ていくと、総選挙で菅直人に投票した人の中では、昨年4月の市長選で6割弱が佐藤を選んだと答えている。比例区での民主党に対する投票との間でクロスデータを取っても概ね同様の数字となる。他方で、12月の出直し選挙と衆院選とのクロスデータで確認すると、衆院選で菅直人に投票した人のそれぞれ2割前後が、稲葉、斎藤、野村の3候補に分散し、また投票しなかったと答えた人も2割強に上った。この点については、今後さらに詳細な分析を試みたいと考えている。

1.1. 普段の政治や選挙について

問16 普段の政治や選挙に関することについてお尋ねします。

[1] あなたは、国や地方の政治にどの程度関心がありますか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	大いに関心がある	197	23.3
2	ある程度関心がある	538	63.7
3	あまり関心がない	94	11.1
4	全く関心がない	11	1.3
99	無回答	4	0.5
	合計	844	100.0

[2] あなたは、国や地方の選挙での投票について、この中のどれに近い考えをお持ちですか。一つ選んで○を付けてください。

			%
1	選挙で投票することは国民の義務である	338	40.0
2	選挙で投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない	322	38.2
3	選挙で投票する、しないは個人の自由である	170	20.1
99	無回答	14	1.7
	合計	844	100.0

[3] あなたは、国や地方の政治をどのくらい信頼できるとお考えですか。国、地方の政治について、それぞれ一つずつ選んで○を付けてください。

【国の政治について】			%
1	いつも信頼できる	3	0.4
2	ある程度信頼できる	142	16.8
3	時々は信頼できる	377	44.7
4	全く信頼できない	311	36.8
99	無回答	11	1.3
	合計	844	100.0

【地方の政治について】			%
1	いつも信頼できる	4	0.5
2	ある程度信頼できる	206	24.4
3	時々は信頼できる	447	53.0
4	全く信頼できない	173	20.5
99	無回答	14	1.7
	合計	844	100.0

[4] あなたは、選挙の結果は政府のやることに、どの程度影響を与えることができると思いますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

			%
1	大いに影響を与える	177	21.0
2	少しは影響を与える	519	61.5
3	全然影響を与えない	135	16.0
99	無回答	13	1.5
	合計	844	100.0

[5] あなたは普段、特定の政党を支持していますか。この中から一つ選んで○を付けてください。

			%
1	民主党	92	10.9
2	自由民主党	100	11.8
3	公明党	17	2.0
4	日本共産党	19	2.3
5	社会民主党	5	0.6
6	国民新党	1	0.1
7	みんなの党	27	3.2
8	たちあがれ日本	8	0.9
9	新党改革	0	0.0
10	その他	2	0.2
0	支持政党なし	494	58.5
11	わからない	52	6.2
99	無回答	27	3.2
	合計	844	100.0

これら一連の設問は、日頃有権者が国や地方の政治に対して抱いている意識が、市政の重要課題に対する意識や選挙における投票行動にどのように影響を与えているのかを分析するために設けたものである。現段階ではまだ詳細な分析は行っていないが、単純なクロスデータを見た限りでは、市政に関する情報への接触度合いは政治的関心との関連性があること、市の行政に対する満足度や市のトップリーダーに対する評価は、国や地方の政治に対する全般的な信頼度と相関があること、などを読み取ることができる。他方、選挙における投票行動については、政治的関心が高いほど、国や地方の政治に対する信頼度が高いほど、また選挙の結果は政府のやることに「影響を与える」と考える人ほど投票に行く人の割合が高いことが確認できた。

なお、政党支持の比率は、同時期に行われたマスコミの世論調査と比べると、本調査では民主・自民の二大政党の支持率が若干低めに出ているが、「支持政党なし」層の割合については、参照した読売、朝日両紙の世論調査と比べてほぼ中間の値となっている（『読売新聞』2012年2月14日：、『朝日新聞』2012年2月13日）。

12. 回答者の属性

ご意見をお伺いするのはこれで終わりですが、回収結果を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて少しお尋ねします。

Q1 あなたがお住まいの地域は、次の中のどちらですか。

			%
1	梶野町	61	7.2
2	桜町	29	3.4
3	関野町	5	0.6
4	中町	92	10.9
5	貫井北町	65	7.7
6	貫井南町	101	12.0
7	東町	113	13.4
8	本町	137	16.2
9	前原町	126	14.9
10	緑町	94	11.1
99	無回答	21	2.5
	合計	844	100.0

Q2 あなたのお年は昨年12月18日(市長選挙の投票日)の時点で、満でおいくつですか。

			%
	20代	69	8.2
	30代	122	14.5
	40代	148	17.5
	50代	147	17.4
	60代	176	20.9
	70歳以上	165	19.5
	無回答	17	2.0
	合計	844	100.0

また性別は、どちらですか。

			%
1	男性	371	44.0
2	女性	452	53.6
99	無回答	21	2.5
	合計	844	100.0

Q3 あなたは小金井市にお住まいになって、何年くらいになりますか。

			%
1	4年未満	136	16.1
2	4年以上	137	16.2
3	12年以上	162	19.2
4	20年以上	397	47.0
99	無回答	12	1.4
	合計	844	100.0

また現在の居住形態は、次のうちのどちらですか。

			%
1	一戸建て	495	58.6
2	集合住宅	310	36.7
3	その他	4	0.5
99	無回答	35	4.1
	合計	844	100.0

Q4 あなたのご職業は何ですか。			
			%
1	農林漁業	2	0.2
2	自営業	66	7.8
3	公務員	30	3.6
4	会社員(管理職)	108	12.8
5	会社員(一般職員)	148	17.5
6	主婦	240	28.4
7	学生	21	2.5
8	無職	137	16.2
9	その他	80	9.5
99	無回答	12	1.4
	合計	844	100.0

また勤務地は、どちらですか。			
			%
1	小金井市内	97	11.5
2	都内	276	32.7
3	その他	30	3.6
	非該当	394	46.7
99	無回答	47	5.6
	合計	844	100.0

Q5 あなたの最終学歴をおしえてください。(在学中・中退は卒業とします)			
			%
1	中学卒(旧制小学・高等小学卒)	31	3.7
2	高校卒(旧制中学卒)	195	23.1
3	高専・短大・専修学校卒	173	20.5
4	大学・大学院卒	430	50.9
99	無回答	15	1.8
	合計	844	100.0

13. 自由回答

調査票の最後に設けた自由解答欄には、多くの市民の方々からご意見・ご感想をいただき、市民の皆さまの多様なお考えをうかがい知ることができた。明らかな誹謗・中傷にあたる判断したものを除き、ご記入いただいた内容をほぼそのまま、以下に掲載する。

なお、各回答はあくまでも、回答者自身の主観に基づく記述と言えるため、客観的事実とは異なる内容も含まれる場合がある。以下ではそうした「主観による誤認」についても、あえてそのまま掲載しているため、お読みいただく際には十分にご留意いただきたい。

市議の定数、給与が多いと思います。もう少し削減し、「それでも、市のために動く」という気持ちを持って、諸問題に取り組んでいただきたいです。
完全に小金井市内に処理場を造れたら無事解決するのでは？ その際は臭いや煙の出ない建物で、ごみ袋代ももう少し安くなれば良いのにとと思います。他府県、市よりもだいぶ価格が高いと思います。
まちづくり、都市開発については、都市計画づくりの段階から広く住民に情報を公開し、多くの住民の意見を聞くべきである。議会や一部の地権者のみの意向だけでなく、都市の景観、防犯上等、その町に住んでいる人たちにいろいろと影響を与えることからだと思う。
公聴会等のようなことを広く、住民が参加できる形で開催してほしい 小さな市だけでは解決できない問題が今後とも多々あると思います。東京都全体、南関東全域など広範囲の中で解決できれば良いですね。
自分が住んでいるところのゴミはその市内で処理するべき。
投票する側の責任が問われていると思う。 子供手当であれば、それだけを考え投票されている。 子供手当は不要。 真面目に働いてきた人が損をするのも変。結局は、政治家も一般も自分の利益を考えている。 全て同じは難しいが、愛のある政策をしてほしい。 長く生き支えてきた人たちが、悲しい最後で亡くなるようではいけない。
今回の市長選(昨年12月)は小金井市民として恥ずかしい。選ぶ市民の品性を問われる。
大久保市長時代にはかなりの地縁、血縁を感じさせるものが多く、現市庁舎もその名残だと思えます。 小金井市に限らず、地方の政治はまるで途上国の政治家の手法そのもののように見えます。
・小金井市職員の給与が高すぎると思います。それによって退職金がとても高額になり、その為に市債を出して支払っているなんてとんでもないと思います。 ・土木費が他の市より支出が高いと思います。市庁舎の前の道路は年中工事をしているように思います。関係者が焦って協議し、一度で工事が済むようにできないものかと思えます。 ・市民が市政に参加できるような仕組みづくりが必要じゃないでしょうか？
市における可燃ごみ処理問題については、稲葉氏のあまりにも身内的な思考回路に、これが真に政を司る人間の姿かとあんなに思っていた。 政治家のモラルの低さ、質の劣化を見るたびに国民として市民としての有様の反映かと胸が痛む。
法治国家としてあまり機能しておらず、何らかの圧力をもつ組織にとって有利に物事が進みやすい。 違法行為に対抗する為のコストが高すぎて、戦いつらい(実体験)
子育て支援、ばらまき反対、学校単位で教育支援、給食無料、その他書道の道具や計算機、そろばん等義務教育で何度も使用しない物は学校の常備品として授業の時は貸し出す。 駅に近いところに保育所を作る。 企業何人以上の企業や商業ビルでは保育所を義務づける。 母親は仕事中でも母乳タイムが取れるし、父親は営業の出入りに子供の様子を見ることができ安心。 ・障害者、生活保護者に行政は甘すぎる。 ・介護保険料はすべて使用しない人には少し返金すべき。
健康に過ごすためにスポーツセンターやおけいこ事でそれなりの出費や努力をしているのだから不公平。 ごみ問題は焼却場を市内に建てるしかない。駅前でも市役所の隣でもいいから早急に。 稲葉市長には現状維持しか期待できない。この程度のことがわからず、前に進めない。
小金井市民のセンスのなさには驚かされる。少しでも小金井が良い方向に進むよう尽力していきたい。 ごみの課題、早くしてください。
処理場は小金井公園の中に建設するべきである。

<p>1 可燃ごみ、新市庁舎問題は長年務めてきた稲葉市長の責任以外ということはない。</p> <p>2 議員、職員の給与が高すぎる。市民の平均収入を考えると高すぎる。</p>
<p>可燃ごみ処理場については長年の3市の流れの中で市議会が暴走した時期もあり、常に市長が矢面に立たされ批判を受けることになるが、過去の責任を追及されるのは的外れだと思えることもある。他市に迷惑をかけないで自市の中で処理するのが望ましいと考えています。小規模な処理場を複数作る等、又今の技術で街中でも環境汚染しない方法など考えられないものかと思っています。革新的な意見を聞くと心ひかれるが、一日も早く地道に解決の糸口を見つけ出してほしいものです。</p>
<p>可燃ごみ処理施設をはじめ、市民の生活に関わる問題について、小金井市の行政は及び腰だと思いません。自分があまり積極的に関わらないのに批判するのは気が引けますが、行政が本腰を入れて引っ張っていく政策が市民生活に有効と思われるなら、市民の支持は得られるのではないのでしょうか。</p>
<p>知識人の多い土地柄を反映するような行政を望みます。</p> <p>可燃ごみ処理について近隣の市町村にいつまでも頼っているべきではない。一日も早く市内に処理施設を建設するべきだと思う。</p> <p>施設を建設するにあたり、近隣住民に事前に十分な説明をし、協力が得られるよう行政が努力すべきだと思います。そして現在で可能な限り、有害物を排除できるような高性能の処理施設を建設すべきであると思います。</p>
<p>佐藤前市長が「無駄遣い」と言った、言わないとか(他市にももちろん失礼だけど)取り上げられておりましたが、実際自分の中で処理できずに(すべきこと、大切なことなのに)何億もかけるというのは市にとって無駄遣いそのものです。</p> <p>また稲葉市長になりましたが、今までの考えを根本から変えなくては、小金井市はもちろん周辺の市に迷惑がかかることと思います。</p>
<p>自分のゴミを処理する能力もないなんて・・・なのに言葉の問題にして啞然としました。何年も問題になっているのに進歩がない。現実には前々市長のせいではないのか？ 進んでいるのでしょうか。不安です。</p> <p>候補者全員が何をするのか政策が全然伝わらない。</p> <p>選挙期間だけ車に乗り、スピーカーで怒鳴るだけ。</p> <p>一人ひとり有権者に理解できるような選挙活動をしてほしい。</p>
<p>日本中にごみ問題で注目されて大変恥ずかしく思っています。一日も早く解決してほしいです。</p>
<p>小金井市のごみ問題はもっと市民も意識を高め、市に対して意見をして行くべきだと思います。</p>
<p>政治家については、信頼できないものが多い。出来の悪いのが最近では政治家になっている。選挙に入りたい人がいない。</p> <p>可燃ごみの処理は絶対市内でやるべき。市内には広大な都立公園がある。固定資産税は全く払っていない。都に用地提供を強く迫るべきだ。そのためには市長の覚悟が必要であり、市民を引き連れて、都庁に押し掛けるぐらいのことをやらないとだめ。もしだめなら、市庁舎の中にごみ処理場をつくるなどの、本気の取り組みが必要だと思う。とにかく、市長選に出た候補者、すべてが本気度が足りない、具体性、実現性のない案で、本当にあきれた。市民として恥ずかしい限り。</p>
<p>この調査の意味は認めるが、本来は市がやるべきといってもムリか。</p> <p>インターネットから選挙で投票できるようにしたら若者もっと投票すると思います。</p> <p>仕事が休めず、別の指定日にもなかなか行けません。投票に行きたくても行けない人が多く、時間のある人や老人が結局投票に行くという現状が変わるといいと思います。街頭演説よりもっとインターネットを使って政策を広めてほしい。</p>
<p>可燃ごみ処理に関する問題は、他市に甘えることなく、小金井市の中で解決すべきこと。</p> <p>住民エゴを捨てることも時として必要である。(もっと早くに)</p> <p>皆が大局的に物事をとらえると良いと思う。ごみの問題だけでなく、すべてに言えることだけれども。</p>
<p>民主党菅氏に期待してきましたが、彼が偽物の政治家であったことを大変残念に思っています。市川房枝女史が「あんな人が政治家になってはいけない」と言っていたという話を聞き、やはり市川女史は見ていたのだと思います。</p>
<p>12月の市長選は、お互いの足の引っ張り合い、悪口合戦で、学級委員以下の最低なもの。こんな選挙で選ばれた人は、まわりは誰も選んでいない人でした。テレビでは「良い人だから」と年金世代の人がインタビューをうけ、学会の力のすごさを見せつけられました。</p> <p>本当に小金井市の市政は最悪です。国政と同じでビジョンがなさすぎ。自分のことばかり考えている政治屋が野党になったとたん、自分たちで決めたことをひるがえし、喜々として人のあら探しをする。市や都、国のために何ができるか考える前に突きつけられる現実。</p> <p>タウンミーティングに行こうにも、働いている人には行けない時間で、行ってもあやしい活動家と年金世代ばかりで話も台本通り、この国の政治はどうなるのでしょうか。理想をもった政治家が育たない。今の若者は不安だらけ。私たちも不満です。フラストレーションはたまるばかり。どうすればいいのかの教育がない。ここだけはアメリカがうらやましいです。</p> <p>反対するならちゃんと代案をもって反対してほしいですね。</p>

<p>佐藤前市長には期待していましたが、辞職となり、とても残念です。保守系近隣市長や稲葉陣営のキャンペーンに屈して残念です。結局は党派の争い—保守系に負けたのだと思います。</p> <p>市民参画の芽がつかまらないよう、市民の声を代弁する市長が出てきてほしい。</p>
<p>通勤族で全国色々な都市を移り住みましたが、東京都にあってこれ程の行政サービスの不備を感じようとは意外でありました。ごみ問題然り、文化施設然り・・・緑に恵まれた素晴らしい土地であるが故に残念です。</p> <p>問題の背景にあるものはよくわかりませんが、是非小金井の郷土愛に満ちた人々の手により、誇れる市を創ってほしいと思います。</p>
<p>いつまでたっても決まらないごみ処理施設、中途半端の大きさの市民交流センター、そして仮住まいの市役所。12月の市長選挙の結果にがっかりしています。これでは小金井市は今まで通り変わらないのでしようね</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ問題：国分寺との約束がある以上、市内に処理場を作るべき。清掃組合に入るなら国分寺も一緒に努力をすべき（可能性はないが）。 ・市庁舎：蛇の目跡地にごみ処理場を作り、その階上に市庁舎を造っては。 ・小金井市政は周辺市と比較してすべて遅れている。職員の向上心も不足。
<p>小金井市は桜で有名な都立公園、野川流れる武蔵野公園をはじめ、住宅地でも緑豊かな住みやすい街です。大学などに囲まれた若い人の多い文教の街でもあります。このような恵まれた街小金井市がますます好きです。だが、小金井市は今重大な問題を抱えている。市民の関心はごみ処理を巡る問題です。一日でも早く解決してください。稲葉市長おねがいします。</p>
<p>古典的な名望家層というべき地主層（職業としては農業、造園業、貸家・貸地業、ビルオーナーなど）が確固として存在しているのが当市の特色です。歴代の市長は、この層から直接に出自していることがほとんどであります。</p> <p>稲葉市長はいわばこの層の雇われマダムとして選ばれ、かなりの改良を実施されました。しかし、こと地主層の利害にかかわる事柄、まさに土地がらみの 이슈になると完全に判断不能となっています。その例がごみ処理施設と市庁舎です。</p> <p>市民はこのしがらみを断つべく佐藤前市長を選出しましたが、本人及び市議会議員の力量不足により無残な結果に終わりました。</p> <p>上記の地主層の有権者数はさほど多くはありませんが、市長の母体となり、市議を掌握することにより数十倍の効率で結果を出していると思えます。</p>
<p>政治に関心がなかったのも、よくわかりませんが、小金井は長期な展望がなく無駄が多いです。その筆頭が仮庁舎で、建設場所を確保しておきながら契約更新をするなど考えられないこと。長期的なしっかりとした構想のもとにかかってほしい。できてしまったホールは壊した。駅前には立派になっても文化施設はこのようなものです。本館図書館ですら閲覧場所が思うようにありません。焼却場も二枚橋を三市で共有していた小金井だけが何も手を打っていなかったのにも関わらず、その後も二枚橋という考えだったのでしょか。あとで聞いたことですが閉鎖した企業の跡地があったようですが、候補地としての検討もされていなかったようです。箱ものばかりではありませんが、無駄なものは削っても必要なものは必要です。年2回の選挙はお金がかかりますね。そして現市長12年も十分長すぎます。小金井はなかなか変わりません。</p>
<p>ゴミ処理施設は小金井市内に焼却場の新設を希望致します。他市に御迷惑をかけ続けることはできる限りしたくありません。全力で取り組んでほしい。</p> <p>日本の国は長年の自民党政治のつけが回り、今私たちが苦しんでいるのです。全政党が一体となって取り組んでほしいと思います。でないと日本の未来はないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ処理に関しては、独自に焼却場を持った方が良いと思います。 ・市役所の人員数が多すぎると思います。 ・企業が少ないので仕方がないと思いますが小金井市は市民税が高いと思います。
<p>原発事故以来、国への信頼、期待がゼロになり絶望しています。</p> <p>小金井の食品の放射性物質を測定してくれる取り組みには助けられますが、現状では子供を産み育てる気にはなれません。</p> <p>子供たちの未来を第一に考えてくれる政治をどうかお願いします。</p>
<p>議員らの自己保身のあまり報酬に値する職務を果たしていない結果、ごみ、市庁舎等の問題が解決されていない。（国政も同様）</p>
<p>とにかくごみ問題と新市庁舎の問題をすっきりさせてほしい。</p>
<p>ごみ問題は一刻も早く解決してほしい。</p>

<p>・住民投票、市議討論会等の情宣や参加呼びかけが市内では目立たず、ごみ問題や市庁舎移転等の重要な論議は市長をはじめとする職員や市議会だけの討議で結局決まってしまうような気がしてならない。市民の直接投票によって決定すべきである。</p> <p>・また駅前開発や公共施設利用は近隣商店街の利害関係はあるものの徹底的に民間のように市民の利便性を最優先すべき。武蔵小金井駅の西口を作り、ヨーカドーの利用やバス便の停留所が使いやすくなったり、市民交流を均一に保育所や託児所を設置したり、駅前には市の顔であることをもっとよく考えてもらいたい。</p> <p>・またわざわざ市役所迄歩かなくても(蛇の目ミシンの跡地にいずれ移転しても)駅前に市役所のサテライトオフィスみたいな、住民票や市民課程度の業務ができる機能を作っておくのも、利便性の面で必要だと思う。こういう利便性を優先させてこそ負の受け入れ、ごみ施設の市内建設等のリスク受容もやむ得ないと思うのだと感じます。</p>
<p>・可燃ごみ場について、二枚橋を予定しているので調布市に議会がもっとお願いしてほしい。</p> <p>・高額の市民給与をオープン化にして欲しい。(パートは除く)</p>
<p>・可燃ごみ処理施設 二枚橋の土地の一部を所有している調布市などの協力を得られないのであれば、東京都が公園として所有している西側隣接地の一部を買収または借受けできないか。菅氏にも地元選出議員として責任がある。</p> <p>・市役所建設の場所は市民の投票による決定ではなく官庁設備、商業施設、緑地計画などの視点で都市計画を行うべきだ。市民選挙では交通の便は考慮されずマンション群など人出の多いところに決められる。行政群がばらばらになってしまう。</p>
<p>市議会議員が多すぎ又歳費も取り過ぎです。議員の数を減らすか歳費を半分にするべきです。なんでも反対を唱える議員は必要ないと思っています。</p> <p>ゴミ問題は市長ばかりが悪いのではなく市議会も悪いのです。反省してください。</p>
<p>1、ごみ処理等の建設 市民交流センター、蛇の目跡地等の市所有の地価の高い場所はすべて売却してごみ処理場の候補地を購入すべき。</p> <p>2、市庁舎の建設 何か所かに分けてではなく不便なところでも広い敷地を探すべきです。</p>
<p>小金井市では可燃ごみ処理場について、まず二枚橋処理場跡地とされてしまう。他市との境にあり面積も市単独では狭すぎるにも関わらずである。古くからそこに有ったからといって特定の市民にだけ我慢を強いるのはおかしい。市の中心においても環境に及ぼす影響の少ない処理方法を選択すべきである。</p> <p>・民意が政治に生かされてほしい。</p> <p>・少数の意見を市政に反映できるシステム(住まい地域)ごとに聞いてほしい。</p> <p>・ごみ問題は、できるだけ市役所の近くでいつでも市民が身近に感じる場所で、従来のように市民の目の遠い所でなくしてほしい。</p>
<p>現在増税に向け、諸費用削減や制度再編議論がされているが、まずは「政党助成金」廃止、天下りの徹底防止、不要財団解体、議員歳費の見直しなどが先行されるべきである。</p> <p>・議員定数削減の前に、選挙制度を中選挙区に戻すべき。現在二大政党制に動いているが民主、自民の言っていることが近頃とみに似たりよったり。それにも拘わらず不毛な対立のための対立で、国民は嫌気がさしている。多角的な議論や根底的な政策論議がみられない。議会民主主義が危機にある。</p> <p>・各政党、政治家、学者、省庁の担当者が世界経済、日本経済の動向や社会状況、制度政策を研究分析し国民にわかりやすく問題提起してほしい。マスコミも表面的な戦争ばかりあおるのは罪深い。</p> <p>・すぐに日米安保廃止などは、非現実的なことだが、沖縄問題・在日米軍の予算など切り口を見出して、日本の主張を述べもっと地位の向上を図っていくべき。頑固一徹、しつこくしつこく食い下がり、移転・移転という言葉ではなく「近隣住民の命と生活を・・・」と、小学生みたいになって言い続けられないのだろうか。あれこれ絶対譲らぬ意思を示せば、わずかな譲歩、微細な譲歩で、何か変化が生まれないのだろうか。国民的にも沖縄の犠牲的有様を考えねばならない。</p> <p>・経済政策についても国民が考えて行かれるように、わかる提言や解説、経済活動への国民からの提案なども掘り起し、活性化につなげてほしい。自然エネルギーの開発、福祉、医療、子育て、教育なども雇用促進にならないのか。</p> <p>・少子高齢社会の社会保障のあり方について、国民みんなが考えていけるようにもっとわかりやすく問題提起してほしい。国民的議論が起こせなければ、本当に日本の未来は危うい。子育て支援、子供を産みやすい環境や労働条件などを工夫して大胆に実施しなくては未来がない。</p>
<p>今の世の中、「小さな声が集まって大きな声になる」の様なことがあまり期待できない。古い政治家・・・自分の利益を一番に考えている風に見え、「どうせ決まっているんだな」と思ってしまう。</p> <p>しかし最近、そんな古い権力に対し、立ち向かう政治家がちらほら出てきているような・・・有権者である私も無関心なふりをせず、そんな人たちを有権者として応援したいと思います。</p>

<p>小金井市近隣の市は多摩川に面しており、地理的な面で有利(特にごみ処理場の立地に関し)であると思います。こうした処理場等は市町村の枠を超え、連携して対応すべき事項と考えます。ぜひとも広域連携での政治をお願いしたいと思います。</p>
<p>昨年12月の市長選挙で稲葉市長が再選された時は本当にがっかりしました。 以降、小金井市政への信頼も薄らぎ、市報や議事録など、市が発信する情報はチェックしていません。 大きな変化が起これば、ニュースとなって耳に入ります。</p>
<p>市長はいつまでも二枚橋にこだわらず早期に態度を決めるべきである。給料ドロボウでは困ります。 財政ももっと市民のことを考えて使うべきです。</p>
<p>可燃ごみ処理場の建設予定地を決めるのに市の中心部に建てる方が、他の市に迷惑をかけるのが少しでも減ると思います。 市長は今期一期限りのつもりですれば、票に関係なく思い切ったことができると思う。どこに決めても必ず反対票が出るもので、市民のエゴを破らなければ決まりません。</p>
<p>国のために働く政治家はいない。自分の保身だけに動くだけであると思う。</p>
<p>可燃ごみ処理については、市長がリーダーシップを出して市のために頑張ってもらいたい。 たとえ反対があろうとも。反対のない政治は政治ではないと思います。</p>
<p>マンション建設は近隣の日照権を奪っているのだから、建ぺい率を再考しないとイケないことだと思う。</p>
<p>下らん市議が多すぎて市政を悪くしている。</p>
<p>市政、市行政のチェック機能があいまいであるため緊張感が全く感じられない。市職員は無責任なサラリーマンのようだし、市議は偏った主張しか行わない。 とても給与とレベルの価値は認められない。国家公務員の方が責任があると思う。</p>
<p>小金井市民は「市内に焼却場を新設する」という覚悟が必要だと思っています。 周辺市や清掃組合への委託を続けることはあまりにも身勝手な、周辺市からの信頼関係も限界にきています。市長は任期中に新設する場所を決定し市民を安心させてください。</p>
<p>佐藤さんにはとてもがっかりしました。 期待して投票しました。やめて責任をとるのはおかしい。もつとがむしゃらにやってほしかった。 その後の稲葉さんにもがっかりしてます。ごみ問題が解決したらこの言葉は撤回します。</p>
<p>一日も早く、市内に可燃ごみ処理施設建設を実施してほしいと思います。</p>
<p>小金井市役所は長きにわたり賃貸市役所で賃貸料を払っている。ごみ焼却場や市役所建設等に対してノラリクラリとして市政のやり方には腹が立ちますが、おとなしい市民が多いせいか旧態依然のまま稲葉さんの市政に戻ってしまいました。 前回の市長選では市政の無駄を訴えての当選で、他市への雑言ではなかったはず…。他市の市長さんの応酬には些かあきれます。 上に立つ人とは過去から教えられ、今を知り、先を見据えた行動力のある人でなければならないと思います。</p>
<p>ごみ問題につきまして、近隣に迷惑をかけ、市内に処理場ができたと思います。</p>
<p>小金井公園の一部の土地を割いて清掃工場を建設すべきである。小金井単独ではなく、複数の市や場合によっては、区とも連携し、規模の大きな施設を建設することが、効率的である。東京都の知事、副知事の理解を得ることが重要である。</p>
<p>一個人がどうにかできるものではないので、市民の声をよく聞き生活しやすい環境を整えてもらいたい。 市民参加条例や住民投票などはいかにも恰好のよい制度等に見えるが、注意しないと特定の集団、階層の考え方に集約され、また利用されて、一般市民の声が必ずしも反映されず怖い面がある。</p>
<p>住民への情報提供として小金井市報を重視しているが、マンネリの紙面に改良、改善の余地があると思う。 単なる行政の行事連絡のための媒体から、市内各地の居住する多様な市民の意見を聴取できるよう、市民の参加した紙面の構成内容になることを望んでいる。</p>
<p>一市一か所のごみ焼却施設の設置は無理がある。東京都または多摩全体として考えられないのですか。 政治はテレビで何十年と同じことの繰り返しのように思われる。 消費税UPはマニフェスト約束実施後にしてください。</p>
<p>ごみ問題は最も急ぐことなのに、現市長は動きが鈍くなぜ再選されるのか。市民は何を考えているのか。 小金井市民は昨年のゴミ問題のことで全国的に悪い意味で有名になったことに残念に思います。 このようにアンケートを受け取って少し不愉快に思いましたが、少しでも意見を表すことができればと思い協力しました。この調査結果、稲葉市長にも知らせてくださいな。</p>
<p>他の市から移ってきたが市の行政サービスに対して職員の作業効率が悪い。意識もない。他の市区町村では人的、機械的に効率を上げているところもある。他の市区町村を見てるのか、やる気がないのか。新しい庁舎ができて、そこで働く人が大事で、ごみ問題に対しても同じ。徹底して論議してから住民に提示してほしい。</p>

<p>市長選に出馬される方の選択肢が少ない。(昨年12月が例外) 小金井市は地元地権者の力が強く、利権等が絡むのでなかなか市政は難しいと思う。だからといってこのまま進まないのも困る。 何とかしてほしいと思いつつもどうする事も出来ず、歯がゆいことが多い。</p>
<p>このところ選挙のことを考えて発言、行動する人が多いように感じる。大きな政党にも期待ができない。が、しっかりと将来のわずかな希望をみせてくれる実行力のある人はいないのかなあ。 大いにもめて残ったものがどうなるのか、方向性を持った人の登場を願う。</p>
<p>小金井に住むようになってから、ごみ処理に関して日増しに問題とを感じるようになりました。 又、他エリアとのギャップを少しずつ知るようになり、市政に関心を持ち始めました。</p>
<p>どんな意見を述べても、アンケートに答えても何ら改善されず、目に見える動きが無いので、もうどうでも良いという気持ちでいっぱいです。</p>
<p>可燃ごみ処理について。当時者の住民なのに関心を持たない人が多すぎる。ごみは誰もが出している関係のない人などいないのに、意識が低くてがっかりする。また同じところに処理場を造ればいいじゃない、くらいのこととしか捉えていない人ばかり。他市に頼って処理しているのに、可燃ごみを減らす努力もろくにしない。がんばって減量しているのが時々むなしく感じる。 前市長が返り咲いたことでより一層むなしさが増した。全く何も考えていない人たちが、名前を知っているからと投票したとしか思えない。今まで何もしてこなかった人に何を任せたくて選ぶのか。小金井に住んでいることが情けない。</p>
<p>小金井市の市長、市議員は市の発展、市民の安定生活を無視し税金の無駄使いが日常的になっている。 新市長になった佐藤氏が市民のために最良の方針、計画を立案したが私利私欲の市会議員に反対され、現在の市会議員では小金井市民の幸せは望めないと残念です。 日本の政治は衆議院をはじめ、大勢の議員の落ちぶれを正常にしたいものです。</p>
<p>可燃ごみ処理の問題を最優先課題にして市政を運営すべきで、これを処理してこそ市政であると思う。 ごみ問題で不安な生活を市民に強いる市政は何ら機能していないのではないか。</p>
<p>今の政治は選挙前にした公約をほとんどすべて破棄していることをあやまるべきである。幼稚である。 住民税が高すぎます。職員の人員整理が必要です。また給与、退職金の見直しが必要です。市議の定数減が必要です。</p>
<p>市議会が市民運動系の議員に牛耳られている。市の発展的な計画がみられてない。 橋下大阪市長の登場に象徴される様に、若く地方政治に画期的な発想と意欲をもって市政にとりくんでくださる様な政治家が小金井市にいてもほしいなと思います。旧態依然としてかつて12年も務めた、そして何も変わらなかった市長が再任して一体何が変わるのか、もっと若い世代の意見が反映される様な市政を望みます。</p>
<p>小金井市の可燃ごみ処理に対する対応策については先代の市長、市幹部は努力しているようだが、どうも状況判断と洞察力が弱い感じがする。だから対応がうまく取られていないように受ける。 また近隣の各市は社会的、文化的にも非常によく対処しているが、小金井市は何もなく、あっても少し弱い。それは設備もなく、また対策能力が弱いためと思う。財政的な問題点もあるが、やはり住民に対し胸襟を開いて考えて行くべきだと思う。会合も開かれているようだが弱い。もっと強いアピールやリーダーシップを発揮すべきでは。そんな人が出てきてほしい。</p>
<p>ごみ処理問題がこんなに長期化し、大事になったのは明らかに稲葉市長、さらにさかのぼったその前の市長の先見性のなさ、一つの考えに固執した結果によるものだと思います。 この前の市長選挙はあれほどにもマスコミでも問題となったごみ処理問題が中心であったにもかかわらず、投票率がそれほど高くなかったのは残念です。 結果も反稲葉をうたった候補者に対する投票数が多いのに、個別では最多投票数を得た稲葉さんが市長に当選したのは何かすっきりしませんでした。 いまは市長だけでなく市議会にももっと大きな柔らかな考えをもって決断力のある活動を期待したいと思います。</p>
<p>教育について、教育者は本当のことを教えていない。人を教える事を人の能力を伸ばすと言い換えれば、非常に手間暇のかかる事だとわかるはず。一対多数ではとても間に合わないとわかるはず。だから1対1が望ましいともわかるはず。だったら親が働いては、子供の能力など伸びるはずもないとわかるはず。だから男女雇用機会均等法などはあってはならない法律だとわかるはず。未来は子供にしかなく、未来を作ることは子供にしかできないことくらいわかるはず。だったら社会のやるべきことの第一は子供をどうするかのはずだとおもうのですが。</p>

<p>もしかすると佐藤氏は、はめられた可能性もあるのかもしれませんが。26市会が動いて、マスコミを利用し、誤解を生じさせた可能性があるのでは勝手に推測しています。</p> <p>正直なところ、どの候補者も一票投じる気持ちにさせない。</p> <p>駅で「ゴミ非常事態」のティッシュを多くもらったが、具体的には何もわからない。毎日、処分にくらかり、それはトラック何台分で、放っておいたら、あと何日で小金井市全土がゴミで埋まるとか、わかりやすくやるべきだと市にも伝えた。</p>
<p>市政にしても都政、国政にしても目標がどれだけ達成されたか、市民が中間審査できる仕組みがあればよいと思う。少なくとも私はすべてマニフェストが達成されるとは思っていないけれども、どこまでできたか、それを判断する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・市長の決断が遅い ・税金が高い ・他市に比べてゴミ袋が高すぎる ・第二庁舎の中が雑然としていて片付いていない。整理整頓がなっていない。
<p>市民の声をもっと聞くための努力をしてほしい。</p> <p>職員はデスクワークだけではなく、外に出て活動してほしい。</p> <p>今小金井がどうなっているかほとんど伝わってこない。</p> <p>無駄な職員の整理をして財政努力をしてほしい。</p>
<p>選挙の時だけ、大騒ぎしましたが、その後市民にはどうなっているのか全然見えない。その後の経過を教えてください。</p>
<p>可燃ゴミについて、市民の協力ばかり求めないでほしい。市長の責任にしないで。市議員、議会にも大いに責任がある。反対ばかりしている。</p> <p>小金井市の議員は全く役に立たない。選挙のためでなく、将来の国のあり方を決定すべきです。</p>
<p>佐藤前市長の辞任問題について</p> <p>①選挙中の発言に対して他の市の市長が公式に非難し、政治活動(ゴミ処理の委託)に反映させたこと、及びマスコミが肯定的に取り上げたことがおかしい。</p> <p>②市長の辞任まで他の市の市長が求めてくるのは、小金井市民を侮辱している。</p> <p>③反論が全くマスコミに取り上げられないのはなぜか。つまり、元来佐藤市長に責任のないゴミ処理委託を楯にとり、自民党系の人々が周辺まで一致して、小金井市民の選んだ市政を踏みにじった行為と考えます。</p> <p>ゴミ処理問題と市庁舎問題は星野—大久保—稲葉の、歴代の自民党系市政の責任によるもので、到底許されない失政である。にもかかわらず、利権を得ている人々に支えられ、なかなか変えられずにいたところ、やっと前々回の選挙で佐藤氏を選出できたのに、このような結果となり再び悪夢の再来となりました。佐藤氏在任中に市庁舎の蛇の目跡地への道筋が作られたのが、せめてもの成果と考えます。(ちなみに私は、特に「佐藤氏を応援する立場で活動した者」ではありません。)</p>
<p>市政について他市と比べて劣っていると思います。</p> <p>こうした客観的なデータを提示すると、関係者も少しは真摯に受けとめるのではないのでしょうか。そもそも他市と比べて財政難であり仕事量も少ないのに、給与は他市、23区よりも高いことから現実的ではないと思います。</p>
<p>ゴミ処理場は、二枚橋に限らず公務員住宅の廃止、東小金井駅北口(元の貨物駅)、大和教習場など、いくらでも候補地があったのに今まで全く進展がないのは、政治家が本気で考えていないとしか思えない。このアンケート結果が少しでもゴミ問題の解決のあと押しでもしてくれればよいと思う。</p>
<p>1、市民の定義を明確にすること。小金井市に住み都心に職場(サラリーマン)は、隣は何する人ぞ、通勤時に通過するだけ。主婦以外は市民とはいえない。学生も市民ではない。市民の40%以上は市民ではない。</p> <p>2、ゴミ問題、近隣の事件が身近に起こって初めて市を知る。回覧板、市報はほとんどの人が読んでいない。東京都や県の情報の方が関心がある。</p>
<p>議会の体たらく、住民エゴ、リーダーシップがない、目標、方針が不明確</p>
<p>小金井市政がずさんになったのは、かなり過去にさかのぼる。地元の有力者が厚顔で議員、市役所で幅を利かせてきた一方、都市化の波で外部のよそ者が流入してきたことで、政策が後手後手ですべての面において無力であった。</p> <p>べらぼうな市役所の給与もさることながら、ゴミ処理においてもマンション乱立により、問題がより深刻化している。元々狭い小金井市に国立大学が2校、公務員宿舎、公園など無数にあり、外部が敷地を占有しているのは看過できない。</p> <p>結論として、小金井市政の展望はレベルの低い市民エゴと対局するばかりで、在立基盤は失われるかぎりであり、「市」としての形をなしていない。解決への糸口は、小金井市を地区毎に分割し近隣市町村と合併しか術はないと考える。</p>

<p>先立っての市長選でまたもや稲葉氏が当選したことは、本当にかっかりした。稲葉氏ではごみ焼却場問題が全くもって進展せず、小金井市民の(一部の)保守的な体制を見せつけられた気がしました。駅南口の開発等も、個人的には不満でした。駅方向のバスがほとんど南口に行ったのは、今でも本当に不便です。</p>
<p>ゴミについては日常身近な問題です。ごみ回収が行われないようなことにならないようにして頂きたい。</p>
<p>小金井市民として恥ずかしいかぎりです。そして他市に迷惑をかけていることを申し訳なく思っています。ごみ問題はこうなることは予測されていたはずなのに、なぜ決められなかったのか不思議です。市長とはどういう仕事をすべきか、真剣に考えて取り組んでほしいと思います。</p>
<p>自分が困ったときに、親身になって相談、解決してくれる、パイプ役になる小金井市を作ってください。また相談窓口も、相談しやすい雰囲気、優しい言葉かけなど。事務的なことの無いように。</p>
<p>ごみ処理問題については、他地域の好意に甘えるのではなく、自力で施設を持ち解決すべきである。いやなもの他者に押し付けるがごとき態度、感覚が強い様に思われる。小金井市政の最大の問題点は、市議会の構成にあるように思われる。全国に類をみないような構成、議会運営の在り方を小金井市民は現実を直視し、自分の問題として真剣にとらえることが必要ではないかと考える。</p>
<p>市庁舎の地代として一日100万円を地主に払っていることは到底理解できない。ミシン跡地を購入しているながら放置して、なんという放漫な運営であろうか。一方、文教、福祉関係の市の施設は周辺他市のそれと比較してあまりにも格差がある。わが町には有力な会社、工場等が少ないということはわかっている。だとするとますます賢い予算の使い方を学ばねば。究極するところ、我々市民の民度が低いということか。反省、反省。</p>
<p>早くごみ問題を解決していただきたい。</p>
<p>小金井市は何年たっても一つも実行したことがない。市役所は建たない。ごみ施設はできる前に壊してしまい、他の市に迷惑をかけてる。何十年もごみを燃やすところすら造れない。市長は12年以上何をしていたのか。去年落ちたのに戻ってきて、高い給料もらって何をしているのか。市役所の問題も早く解決してほしい。駅前も南口も失敗したくせに、駅前のビルの商店は立川よりはるかに遅れている。</p>
<p>小金井市にはゴミ問題、市庁舎問題、市民交流センターの問題など、重要な問題が山積していますが、市民がこれらの問題をどれだけ緊迫した問題と捉えているかは疑問に思っています。(投票率にも反映されてない。)今後、大きな変革を起こすためには市民の側にも意識改革、緊迫感が必要と思います。</p>
<p>市長選について、長年の固定票が活きてしまい、いつまでたっても新しい市長にならないような気がする。佐藤前市長が辞職されたのは残念だし失望した。</p>
<p>小金井市にも橋下徹のような人がほしい。</p>
<p>議員の報酬が先進国のそれと比較してあまりにも高額すぎる。市政等について、些細なことにも意見というより、いたずらに反対するモンスターがおり、問題意識の乏しい者に悪影響を与えることを憂う。</p>
<p>小金井市のゴミ問題は、周りの市との関係もあるので、周りの市のアンケート調査もしてほしい。また、この地域特有の地主さんとの関係がいろいろな問題の原因だと思う。たとえば市庁舎、交流センター等。</p>
<p>もっとアンケートをしたほうが良い。</p>
<p>他の市のように小学校の通学の自由化。他の市に比べて図書館の充実化、小金井はもの足りない。東小金井駅周辺の再開発。</p>
<p>市民交流センターや新しく貫井北町地域センターにお金を使う余裕があるなら、可燃ごみの施設を優先すべきだと思っています。ごみ処理問題で有名になるなんて恥ずかしいです。このような地方政治に関する研究をしているならぜひ小金井市にアドバイスしていただきたいです。</p>
<p>市庁舎の借用地に関しては、税金の無駄遣いであり、すでに新市庁舎建設用地を取得済みにも拘わらず放置しているのは、既得権益側との癒着が疑われる状況である。早急に無駄使いの状況を改善すべきである。</p>
<p>1、小金井市の可燃ごみ処理については一刻も早く市自前の処理場を築造してもらいたい。そのためのリスクについては多少は我慢する思いはある。 2、市の財政が赤字である。議員、市職員の削減等を議会にて検討してもらいたい。 3、私は近く定年退職となり、年金生活者となります。国会で年金削減等の法案があり、将来が心配である。</p>

<p>正直、現在の小金井市には何の魅力も感じられない。 武蔵小金井駅前開発も全く期待できるようなものではないし、前々からの市庁舎の建設やゴミ処理問題も発展していない。 今年中に都心に引っ越し予定。</p>
<p>新たに焼却場を建てることを前提で、とりあえずどこかの組合に入れてもらうのが現実的と思う。組合加入料がどのくらいなのか知りたい。</p>
<p>ごみ処理問題は二枚橋ができてからの歴史がよくわからず、考えのまとまらないことがある。</p>
<p>市長、市議会選挙に立候補する面子の魅力のなさを感じる。リース庁舎の問題は、税収に合っているとは思えない。ごみ処理問題を優先させずに市民交流センターに税金を投入する感覚が信じられない。 政治家のレベルの低さは市民、国民のレベルが低いせいだとは思いますが、これほどひどいとは。</p>
<p>近所に認知症気味のおばあさんがいたが、行政の手助けが手厚くとも良く、弱者にはきめの細かい政策であるが、それに関わる人たちへの支払いは？ ボランティアではないように見えたが。 その一方テニスコート等、よく利用させていただくが、数年前にコートの建て替えがあった。狭くて、使いにくい。提案をし、利用者の声として電話したりしたが、納得できる回答は得られなかった。税金の使い方を 見直す必要あり。</p>
<p>小金井市は市職員に対する給与が高すぎると思います。市民の税金を本気で考える必要あり。特に学校関係の市職員の給与が高すぎる。 現状を的確にとらえてほしい。勤務内容、時間は的確ですか。校庭解放また職員の給与も他市以上・・・本当に高すぎです。学校主事、給食主事・・・会社だったらクビですよ。 よんだ市職員の給与、人員の削減、すぐに実行する必要があります。 稲葉さんに戻りその点またひどい状況が続くのかと思いがっかりでした。</p>
<p>放置しないで、討議して実現可能な事をさっさと実施したほうが良い。</p>
<p>正直、市の議会等一度も傍聴したことがない。毎月の市報でごく身近なことを知る程度である。 市民投票制度は、以前どこかでチラッと？ 耳にしたことはある。つい最近、佐藤前市長が口にしたことがあったように思う。 いちばん身近な市政に関心を持つべきなのに、国政の方に気が向く。新聞、テレビ、ラジオの報道の影響でしょう。身近に感じます。市政には全く疎い。 市民投票制度は、思うに市政の重要な案件とか事項等を市民に問う条例かと思いつきながら回答した。不勉強で恥ずかしい限りです。申し訳ない。</p>
<p>基本的に市政や国政に興味を深めようとはしない生活をしてきました。 近隣の仲良し、時々集まり市政について話し合える仲間づくりからだと思ふようになりました。</p>
<p>小金井のゴミ問題は市長、議会、役所が今まで何も決められなかった。無責任である。 議会でも、なんでも反対すればいいと思う政党もいて無責任である。反対すればいいというものではない。稲葉市長も前回何もやらなかった。市民も今まで関心が薄かったように思う。</p>
<p>ごみ処理問題について。住民が自分自身の問題として義務を果たすべし(処理場設置のための金銭(税金)の負担など)。市長は市民に、どうすればベストなのか、用地、費用などを含めてもっともっと発信し、説得すべきだと思う。</p>
<p>東日本大震災の衝撃は深く、大自然は日中および世界の人々に争うことをやめ心と力を合わせてこの地球規模の激動期を乗り切っていくよう促している・・・と受けとめています。去る1月5日、NHKテレビ「あさイチ」で被災地のひとつ、南三陸町馬場中山地区の人々がリーダーを中心に、まさしくみんなで心と力をあわせて苦難を乗り越えて来た10カ月の様子を伝えていました。 ※NHKテレビで紹介されていたのは、高台を貫くバイパス「未来道」1.5キロを全国のボランティアの力(重機提供等も)を集めて開通させたり、漁業復興の足掛かり「わかめ養殖再開」に欠かせない大型船(中古)を、何とか手に入れ「希望の先の船」に(福福丸)と命名したことなどでした。 周りの力を集めて事を成し遂げていくのがリーダーの資質。政治に携わる方に、このリーダーの精神を取り戻してほしいと願っています。</p>
<p>自分を支持してくれる有力な有権者の不利益ならば、なるべく避けたい気持ちは理解できますが、小金井市でいえば、地元の地主さん達になびいて機嫌を損なわないように、との方向(市民よりも)に気持ちが強いと思われます。税金の無駄使いを極力しないように(市民の血税ですよ！)お願いしたいと思ひます。</p>

<p>国及び地方の長期債務残高は約890兆円であり、国民1人当たり約700万になるという。また、今後日本は人口減少期を迎える。借入金総額に変化はなくとも、国民一人あたりの残高は増加していくことになる。年金の給付と負担の世代間格差が話題となっているが、借入金も含め、世代間の不均衡の是正を早急に行うべきである。現状の高齢者への福祉は、将来世代が期待できる福祉と比較して過大でありすぎる。</p> <p>公務員の給与についても、不況が続いているせいか、民間との格差が目立つ。平均給与もさることながら、年代別の給与も検討してほしい。就業規則上は60歳定年を定めていても、実際の運用では50歳を過ぎるころから、子会社への出向・転籍となり、あるいは55歳以降は給与テーブルが変わるなどで高齢者の給与を抑えている民間企業が多い。</p> <p>また退職金にしても、公務員では退職時の給与に乗率を乗じるような従来型の方式が多いようであるが、民間企業ではポイント制退職金や確定拠出年金制度等を導入するところが増えている。ポイント制退職金制度とは、在職中の企業への貢献度に応じて毎年ポイントを付与し、これを累積したものにポイント単価を乗じて退職金額を算定する制度である。最終の給付だけでなく、在職中の貢献度を退職金に反映させる制度である。</p> <p>公務員は、倒産というリスクがないのであるから、給与などの処遇面で民間よりも高くないようにすべきである。</p>
<p>佐藤前市長の「近隣への支払うごみ処理費用はムダ」発言は言葉遣いとして配慮が足りなかったかもしれないが、高額費用を支払っている現状が「もったいない」ことは事実で、その言葉尻だけ捉えて辞職にまで追いやる方々の器を疑う。二枚橋にしてもそうだが、問題の元凶は単なる子供じみたケンカで、住民は懸命にごみを減らそうと努力しているのにバカバカしいと感じてしまう。</p> <p>震災のがれきは受け入れるのに、同じ都内の市民のごみは見向きもされない現実も納得いかない。TVなどのコメンテーターで、小金井市民はごみを出さないようもっと努力すべきと他人事のように平然と口にする人がいるが、毎日食べる食品たちはそれだけでごみに含まれているといつてよく、ごみをさらに減らすには、売る側にも工夫や努力を促してもらいたい。</p> <p>以前、市報に駅前開発について市民のご意見を、とあったが住所等完全記名で、よほど自信のある人物以外は何も言えないと思う。このようなアンケートは、こちらにとってもありがたいです。</p>
<p>この12年で稲葉氏で、ごみ問題をちゃんと取り組んでいればこんな問題はなかったのでは？！その稲葉氏がこの1年で、どう市民に対してごみ問題に対応していくか楽しみである。しかし無駄な所にお金を使っているのは許しがたい。</p>
<p>何年も前から問題となっているごみ処理問題、市庁舎建設問題についていまだに解決できない市長、市議に問題があると思うと共に、ごみ問題については他市からの支援を受けるだけで精いっぱいとは情けない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市は住民を無視した議員が多数いるため、何をやってもうまくいくわけではない。(これは住民が悪いのかもしれない) ・市長が何人変わろうとも、ごみ処理問題は解決しない。市長、議員が住民のためにもっと意見を出して行政を進めなければ何もできない。 ・議員が自分のエゴのために首長の足をひっぱるようなことでは、小金井市の発展はありえない。
<p>ごみ問題は早く解決してもらいたい。首長は何人か首が飛ぶ覚悟で当たってもらいたい。都市部の市民のエゴは強いが、これを治めるのが首長たる者の任務である。</p>
<p>市民交流センターよりもごみ問題、可燃ごみ処理場建設はだいたい元々、昨年4月までに稲葉さんがある程度道筋を作っておくべきです。何もできていないと思われていても仕方がない。実際できていないから。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ問題をいいかげん早く解決してほしい。市長がどのように取り組んでいるのが全く見えない。 ・選挙活動がすべてうさんくさく見える。 ・今の市長は全く期待できないので早く変わってほしい。未熟でもいいから、若い人がトップに立つべきだと思う。思考がこり固まった年長者はさっさと引退すべき。 ・新市庁舎に関して住民投票をすべき。もっと市民の声を聞いてほしい。(こういうアンケートはいいと思う。) ・市民交流センターの必要性がわからない。もっと利用しやすい設備にしてほしい。府中市の図書館のようなものがほしい。
<p>ごみ袋などで市民もお金を払ってごみを出しているのだから、一刻も早く解決してほしい。(ごみ袋代も高いのに・・・)</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1、ごみ処理場については、やはり小金井市で他の市に頼らず、自前のごみ処理場を持つべきだと思う。 2、市民交流センターとは名ばかりで、私は市民コーラスのグループに所属していますが、URが管理している限り、市民優先のものではないことが昨年はっきりとしました。市が買い取るにはとても経済的に厳しく、高すぎる買い物になる事は間違いなしです。高価なものを建てすぎたのではないのでしょうか。名実共に小金井市民交流センターになってほしいと思う。

<p>ごみ処理場建設について・・・問題の調布の土地はもうあきらめ、その代わりに周囲の土地を広げて今までの場所に建て、焼却によってできる熱エネルギーを利用し、公共のリフレッシュセンターを市民の為に利用できるようなすれば、一石二鳥だと思う。市役所も今ある旧庁舎跡にビルを建設したらと思う。子育て支援について・・・リタイヤした主婦たちを短時間交代して支援することもこれからは必要になるのでは。若い人の負担をなるべく減らし、社会に貢献していただきたい。</p>
<p>現状、小金井市の稲葉市長は小金井市のためにはかなりの努力をして来た方かと思えます。貧乏な小金井市をここ迄発展させてくれた稲葉市長に、これからもごみ問題など広く小金井市のいろいろな問題に取り組み、頑張ってもらいたいと希望いたします。なお、今の国の政治には全く希望もない現状。自民党が民主党がじゃなく、今はどの政党も一丸となって日本の国を建てなおすことにその信念を集中してほしい。あまりにも頼りない政治家ばかりで日本人の一人として情けない限りです。</p>
<p>全国区でごみ問題の小金井市として有名になり、その後の何の解決策もなく、いつも新聞に載る事は他市が何年まで引き受けるの記事ばかり。国分寺との約束はどうするのですか。小金井市の市民税は高い方ではないのですか？ 市民ホールにしろ図書館にしろ市庁舎にしろ、何一つ問題解決に向けて考えているようには思えません。小金井市民であることが恥ずかしい。</p>
<p>二枚橋ごみ処理場跡地は3市が対立し、稲葉氏がこだわるのが理解できない。本来蛇の目跡地は、ごみ処理施設にするべきである。市役所は現在の本庁舎跡に建設すべき。ごみ処理施設は蛇の目以外にも、都営住宅跡地、東八道路沿いの自動車教習場跡地など、優先取得権のある場所を断り続けたのは、稲葉氏の地主と結びついた利権優先の体質でしかない。今回稲葉氏が再選されたのも不思議でならない。自民党の主張では、新庁舎を建ててもメンテナンス、ランニングコストがかかるというが、リース料は市民ではなく一部の地主、家主に渡るではないか。笑止。市のホームページに関して。以前は良くアクセスしていたが、一方的で意見に対する答えがないので、又は無視されるので現在はアクセスしない。市民参加に関して。40年以上も小金井に住んでいるが、旧住民(坂下)と新住民(坂上)では、参加が新住民はゆるい形で、疎外されている。佐藤市長の辞職に関して。辞職の経緯が伝わってこない。ただの多摩地主連合の「いやがらせ」としか思えない。稲葉氏再選によって、市政への参加意欲が大いに削がれたのだけは確かです。</p>
<p>雨水浸透ますの設置を後押ししたり、ディスプレイ付きの住宅やマンションは建たないなど、小金井はそれなりに環境を考えることは忘れないところだと思ってきました。しかしながら、前原小の立派なけやきの木を剪定以上のひどい切り方をしたり、ごみ問題も結局は周辺市との利権にからめる姿勢を見ると、稲葉さんは市民の方ではない、別のところに視線が向いているとしか思えませんでした。再選挙で返り咲いたからといって、反稲葉票の方が結局は多いのです。大久保→稲葉の市民不在の市政にはこりこりしています。都心にもそう遠くない便利さと、豊かな自然が同居する小金井が誇りとなることを願っています。小金井市の状況に関心をお持ちいただいたこと、感謝申し上げます。</p>
<p>ごみ問題を解決してこなかった市長が組織票で再選され、今後も停滞することを心配している。市長や議会議員は情報発信するほどの活動はしていないと評価している。</p>
<p>国や市に対して意見があるとき、どうしたらいいのだろう。ご意見箱やネット投稿やメールを気軽にできればいいのにと常々思っています。</p>
<p>小金井市のごみ問題について、現在調布市に可燃ごみの処理をお願いしているが自分のゴミは自分で処理するのが大前提だと思います。場所、財政等、課題は山積ではあるが、一日も早く小金井市のゴミ処理場建設の道筋をたててほしい。</p>
<p>ハーグ陸戦条約43条に違反して作られた英文の憲法ではなく、日本人による新しい憲法の制定を。防衛、教育、外交、経済、すべてはそこから新しく始めないかぎり、日本の未来はない。</p>
<p>12/18の市長選挙で、稲葉市長の得票数は4月の選挙より少ない得票数での当選であった。自公の組織票のみと思われる。「市民は稲葉氏を選んだ」とメディアは報道していたが、大多数は稲葉市長を選んでいる事実を市長は認識してほしい。今回のごみ問題についての騒動で近隣の市長たち、稲葉市長、市職員、議員に不信感をもっている。まちづくり都市開発について、21年9月に突然「連雀通りたった250メートルの拡幅工事」の知らせがあった。住民には一言の説明もなしにいきなりのお願いであった。理不尽な要求は今もって受け入れられない。この件は昨年、市の建設環境委員会が審議未了廃案となっている。</p>

<p>小金井の市政には問題がありすぎると思います。市民の税金を使って市庁舎の高額なリース料を払い、せつかく当選した佐藤市長も辞職を迫られ、ごみ問題は解決しないまま。何も仕事をしない割には市議会議員の給料は高く、住民税も高い。</p> <p>こんな市政では何も信頼できません。武蔵野市や府中市をもっと見習ってほしいと思います。</p> <p>稲葉市長の辞職を私は願います。小金井は住みやすくいい街なんですけどね。</p>
<p>小金井市は周辺自治体と比較しても(住民の意識の低さもあってか)いろんな意味で遅れているように思われます。</p> <p>従ってごみ処理場問題についても、いつまでたっても二枚橋に処理施設を建設するとの非現実的な選択肢に拘泥するのではなく、新しい角度から知見を有する市民からのアドバイス等をも得て、それとの連携の下に、その他の重要問題についても取り組むべきだと考えます。</p>
<p>可燃ごみ処理場の件が最も重要なことだと思います。「蛇の目跡地」が市の土地としては、広さ、交通などを考えると適地だと思います。</p> <p>現在の燃やし方など科学的研究を行い、周囲の住宅の方々には悪影響の少ない方法をとり入れること。市役所庁舎の件はその次の課題で良いと思います。</p> <p>尚、中央線高架下の活用が市民にはわかりにくいので、市の都市計画課は公表するのがよいでしょう。</p> <p>市報の個別宅配や空いているココバスなどムダが多いと感じています。</p>
<p>生きている以上、ごみはゼロにできません。</p> <p>市庁舎はプレハブでよいから、小金井市の敷地に建てるべき。</p> <p>政治の問題は、しろうとに参加させるより、専門家でしっかり話し合って結論を出せばよい。</p> <p>小金井市の中で山積している問題のすべてにすべての市民がかかわることで解決策が出ないまま、いたずらに時間が過ぎていきます。</p> <p>市長をはじめ、職員はもっと自信をもって政策を進めていただきたい。広く浅くわずかな恵みを市民に分配する方法は、この大変な時代にそぐわないものだと思います。</p>
<p>可燃ごみ処理問題については、現市長は問題を解決しているとは思えない。数年先、数十年先を考えたとき、現状の方法でやっていけるのか疑問が残る。</p> <p>なぜ日本の政治、選挙に多額の金を必要とするのか全く理解できない。</p> <p>公務員の人員、給与をカットする前に議員を減らせと言いたい。国会で寝ているもの、揚げ足をとるだけのもの必要ない。</p>
<p>制度としての今の行政はかなり疲労し、ほとんどごみ同然になりかけていると感じます。</p> <p>地域でもっと行政に関与する仕組みや更には「市民革命」が必要だと感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却場については都に調停を求めるべきである。われわれは都民税も負担しているのだ。 ・小選挙区制、比例代表など有能な人々の政界参加は閉ざされている。われわれの選挙区の中で選べる人がいない場合、棄権か白紙投票をせざるを得ない。 ・国の代表は公選にすべきである。 ・天皇は定年制などもつてのほか。法人制皇室にでもするのか。ばかばかしい。不要の存在とさえも思えるのに。
<p>市長や市議会議員は自分の任期の間だけよければ、その仕事がその後どうでもよいという感じがします。将来、よい小金井市が生まれますよう願っています。</p>
<p>昨年有権者になって初めて、市政への関心と責任が出てきました。普段からもっと積極的に市政の情報にふれ、考えていきたいと思えます。</p> <p>現在、私の大学では武蔵野市と三鷹市にエネルギー政策の転換(自然エネルギーやPPSを含む多様な電気事業者の受け入れなど)を求める活動が行われていますが、小金井市でもこうした問題に関して何らかの取り組みは行われているのでしょうか。「子にいい小金井」としては、そうした将来の問題も考えてもらいたいです。</p>
<p>稲葉さんは今まで何をやってきたのでしょうか。焼却炉も進まず、何年無駄な時間と金を費やしているのか。佐藤氏に期待したが、頭の悪い議員が踵を返し四面楚歌となり、頭を下げただけの半年間。またまた無駄な時間に加え、小金井市の情けない情勢を社会が取り上げることになり、これで少しは改善されると思いきや、また稲葉氏ののらりくらの弁論だ。市民として選挙に一票を投じるのに人材不足。選びようのない立候補者。心底、行動力のある市長を望みたい。反対されたらそうですか…と引込むようでは何も変えられない。橋下さんいいなあとつぶやく毎日です。</p>

<p>1. 国も市も解決能力のある、リーダーシップのある人材が決定的に不足している。</p> <p>2. 国会議員は全員国民が直接選ぶべきである。小選挙区で落選したものが比例代表で議員になるのはおかしい。</p> <p>3. 今の国会議員のレベルでは国民の重要な政策の決定は任せられない。国民投票で決めるべきである。</p> <p>4. 国会議員に対するリコール制度を導入し、不適な議員を選挙以外でも排除できるようにすべきである。</p> <p>5. 小金井市は従来からの土着の住民の力が強く、したがって稲葉のような人間が再選される土壤がある。</p> <p>6. このままではごみ問題は全く解決する見込みはない。ほかの市と合併するか、ほかの清掃組合に加入させてもらうのが一番現実的と思う。</p>
<p>首長選挙で50%を下回る投票率、すなわち市民の政治に対する関心、意識の低さは憂慮すべきことだと思います。強制せず一般の有権者が自発的に投票に行くようにする方策がないか、考えさせられます。</p> <p>前佐藤市長の辞任で、小金井のごみ問題が深刻な状態であることを知りました。市民の人権を脅かすごみ収集問題を放置した無能な現市、自治体には、大変失望しており、今後も何も期待できないのが現状です。真面目に仕事をし、きちんと税金を納めております。東京都民としての基本的な人権は守っていただきたい。</p> <p>小金井市の無能な自治体は解散し、市自体を近隣の有能な市に分割吸収していただいた方が住民にとっては安心、安全なのではないのでしょうか。</p>
<p>1、市政について。他市との協力は重要であるが、他人事ではない。市役所、市議会議員の責任が問われる。自力解決が基本。</p> <p>2、政治・選挙について。表面的な流れで変動するので、正しい情報伝達が大切。</p> <p>3、調査、研究、分析について。偏らない機関での調査・研究は、重要です。方向性は一番大事と考える。</p>
<p>子育てのしやすい小金井市になってほしいです。</p>
<p>税金を増やしても、ごみ問題は早期に解決していただきたいです。</p> <p>有権者の多くが高齢者ということもあり、福祉にかかる経費を抑えようという意見を言い出せるとは思いませんが、未来を担う子供たちがしっかり育まれる市政づくりに尽力していただきたいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、国の政治屋の行動を見ると腹立たしく、国家の存続を心配してる。 ・大阪維新の会が目されるのは決断と実行を望むからだ。 ・70年以上生きていて、中央政治は過去最悪と思う。
<p>参議院廃止。衆議院の給料50%削減等希望。政治家は自分たちの身は切らないので、以上のこと等は国民投票にするべき。</p>
<p>ごみ問題はとても重視している。</p> <p>もっと住みよい小金井市にならないと困る。市民はもっと自分の住む市に関心を持つべきだ！！</p>
<p>可燃ごみ処理は他市に頼らず自前で行うことを考えるべきです。</p>
<p>九州～東京を転々と主人の転勤について回りましたが、この地にお世話になるようになってごみ問題がこんなに大変なこととは・・・驚きました。子供たち四人が成長し、独立してからの小金井住まいでよかったです。昔ニュースで見た夢の島を思い出しました。あれはどうなりましたか。ずいぶん前ですよ。</p>
<p>市民が本を読んだり学習したりすることができる施設として、近隣の市ではルミエール府中や稲城市立図書館などがあり、武蔵野市は昨年、武蔵野プレイスができました。</p> <p>これに対して、小金井市は文化遺産のようなものばかりで近代的な施設はありません。小金井市立図書館の近くにある別館と称するプレハブの学習室にいたっては、ごく小規模でしかも一般利用土日のみなどの制限があります。</p> <p>私はやむをえず上記他市の施設を利用しておりますが、学習室は例えばルミエール府中内の学習室は府中市民でないと利用できません。</p> <p>要するに小金井市民には、気軽に本を読んだり学習したりすることができるような近代的で文化的な施設が全くないのです。</p> <p>私はこれは市庁舎より優先順位が高い問題だと思っておりますが、この現状について市長、市議の方あるいは市民の人がどのように考えているのか知りたいと思います。</p>
<p>2011年3月下旬に小金井市に引っ越し、4月市長選で投票はできないものの、ごみ問題を知った。ごみ問題という日々の生活に直結する大きな問題が目撃されたにもかかわらず、12月の投票率が低いのがっかりした。</p>

<p>小金井市のごみ問題はかなり以前からの問題を引きずってきた感があります。市長になる人は先を見て問題にあたる人が望ましい。NO2の人も、市長にもの申す人であってほしい。市議会は各党が足の引っ張り合いではなく、市の為に丸となって当たってほしい。こんな当たり前のことが小金井にはなかったように聞いています。もう一度人間教育のやりかたが必要です。小金井にも小金井政治塾を作ったらよいと思います。</p>
<p>稲葉市政にNOを突きつけて佐藤市長になったのに、昨年暮れ、ずうずうしく稲葉氏が立候補したことに腹が立ちました。自民、公明が推薦したのにもがっかりです。 小金井はすべてにおいて住みにくい街になってしまいました。</p>
<p>震災を機に市政や都政、国政にも興味を持ちました。 でも頭にくることばかり。なぜ政治の仕組みが今の形になってしまったのかと頭を抱えます。 税金ドロボーばかりです。有能な政治家を育てなくてはならないと思うので、焼け石に水でも選挙には行くようになりました。</p>
<p>今回の選挙後、駅前で演説する市議の人が増えて個々の政策に触れる機会が増えたのはいいと思う。小金井市のごみ減量キャンペーンのティッシュを配っているが、ごみ処理機能を自分たちで持っていないのに、最終的にごみになるティッシュを配ることに違和感を感じる。</p>
<p>小金井市は可燃ごみ処理に関して相当困っていますね。特にごみ処理場(二枚橋)がなくなりました。小金井市からみれば一番適した場所だと思っていましたが、調布、府中両市が反対しています。特に両市には小金井市民のことを思ってくれてもいいんじゃないかと残念でなりません。</p>
<p>ごみ問題は国や都がある程度指導・助言する必要があると思います。特に都の役人は何をしているのかわかりません。</p>
<p>「困ったこと、相談してください」と議員のパンフレットに書いてあるが、市の為に行うのか票の為に行うのかと疑問に思う。 投票率30%台で民意を受けたと言っているが喜んでいいのか。公明、自民、既成政党は低投票率で労働組合、利権がついてくるとなかなか市政は変わらない。 国会議員はだめだとテレビで言っていたら、あなたが当選させたいでしょと言っていた。どちらが悪いのか。 年金について、10年前年金を他に何に使ってしまったのか。いくらくらい運営で損失したのかをはっきりさせ、責任を取ってもらいたい。</p>
<p>可燃ごみ処理場を早急に建設すべきだと思います。 本当に二枚橋でだめなら、蛇の目ミシン跡地でも仕方がないとも思います。その際、温水プールや小金井温泉等を一体化し、ごみ処理場は困るけど、温水プールや小金井温泉等ができたのだから、まあ少しは我慢しなくてははいけないね等と思ってもらえるように、近隣住民の方々と多々話し合いを早急にしてゆくべきだと思います。</p>
<p>私の実家、長野県のお小さな市ですが、月に一回家に帰った時必ず読むのが市報です。カラーで見やすく、小さな市でもがんばっているのだなと勇気づけられます。小金井の市報は市での活動内容の発表など流れが決まりきっていて、色も殺風景で読もうと思えません。もっと小金井ってこんな街でこんな人がいるということを知りやすく、明るく、楽しく伝えていけばもっと市の活動について積極的に目を向けようとする人々が増えるのではないのでしょうか。インターネットの時代ですが、私は市報のような原始的な方法はたくさんの方が目にすることができる大切なツールだと思います。</p>
<p>ごみ問題等で共産党等が反対して混乱したこと。 自分たちが出した可燃ごみは他の市に任せないで、市内での処理をまず第一に考え、実行することで。処理施設には燃焼熱を利用した市民のための温浴施設、老人ホーム関係施設、勤労者が利用できるスポーツ施設、子育て支援のための保育所、不登校の子供たちの学べる施設など、プロジェクトチームを作り、様々な分野のスペシャリストの知恵の援助で、将来型の複合施設の建築をお願いしたいです。 小金井市は、農家でいらした方の土地を相続で手放さざるを得ない方が多いと存じます。私も兄弟で土地を相続し、小金井市に買ってもらえないか打診したが却下されました。(市場の四分の一で)相続の為土地を手放す方には税を軽減したりして、ごみ処理場施設を確保してほしいです。必ず反対運動が立ち上がりますが、代替地、税の軽減と地域の方の施設利用など、方法を講じていただきたいです。</p>
<p>福祉のサービスが他市他区に比べて悪い。税金は高い。できれば他の市に移りたい。今のままでは老後がとても心配です。処理場は二枚橋に造ればいい。市役所は早く造って、所有者をこれ以上もうけさせるなどと思います。</p>
<p>二枚橋のごみ処理場を稼働させていただきたい。武蔵小金井駅を早急に造り上げてほしい。図書館など公共施設をきれいにしてほしい。</p>

<p>市庁舎がリースであることの不思議さを続けて、ばからしく思います。しかも元市長経験者の所有物とは、12年間にごみ問題の解決法が迷路入りした議会もナンセンス。</p> <p>交流センター取得までの経緯のぼんやり度、佐藤前市長の発言もマスコミの不注意でありましたが、経過を考えると発言の中身は当然です。やや村八分的で小金井の風土を感じました。議会が本質を失っています。</p>
<p>日本の政治は何をするにも時間がかかりすぎ、いらいらすることが多い。早く日本にも誇れるリーダーが出てきてほしい。</p>
<p>ここ10年ほど、市政の大きな課題であった市庁舎建設問題を先送りすることなく組織の総力をあげるとともに、市長の強いリーダーシップが適切に発揮されれば、今のような体たらくを招くことはなかったと思います。どうにもならない大問題だと言って、その責任の一端を市民に求めるという今のスタンスは甚だ無責任である。</p> <p>現市長が恥もなく立候補し、その結果当選したからには恥の上塗りにならないよう、市民の為に命をかけて責務に邁進すべきと思います。そして、最善の結果を出す必要があります。またそのことを注視しています。</p>
<p>昨年4月の市長選で佐藤さんが当選したことが、小金井市民の総意であったと思っています。稲葉さん路線では何も変わらない。佐藤さんは小金井市民に向けて、ごみ処理委託費のムダ使いを訴えたかったのでしょう。周りの市長さん方が小金井市を助けている立場からか、その言葉に強く反応してしまったことには困惑しました。だからこそ、小金井市は早く自立することが必要だと思います。昨年12月の市長選の際、武蔵野市の友達には、又稲葉さんを当選させてしまったら小金井市民は笑いものよと言われましたが、その通りになってしまいました。このままでは市役所の賃貸料のムダ等、小金井市は将来福祉の財源もなくなるのでは、と心配になります。市民へのゴミ減量のアピールはいま一つです。テレビで見て知る始末です。週に何度か来るごみ収集車のメロディの後に、ごみの現状やお願いを流すなど工夫が必要です。読んで知る情報も必要ですが、高齢者には耳から入る情報も必要と思います。小金井市は市民の声と知恵をもっと聞くべきだと思っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市に20年近く住んでいるが、特定の地主が幅をきかせ得をしている市である。近年、マンションも林立し、市としての一体感もない。 ・市の役目ではないかもしれないが、JR駅舎の建設、高架下の使途、駅前広場の開発など、遅々として進まず、市民の意見を反映する手段もない。 ・市議、市長、市政に関しては失望ばかりでシラケルばかりである。 ・選挙のたびに投票したい人々が現れずがっかりする。
<p>ごみ問題を全く解決しなかった稲葉市長を又選ぶという市民のレベルの低さに驚いている。</p> <p>市役所職員の給与が全国平均に比べ高すぎることにしてもうやむやになっていること、第二庁舎の家賃を払い続けていること、いろいろ不満はあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・国を本当によくするために政治家は動いていただきたいと思います。 ・市政も目の前のことではなく、広い考えを持って先を見て行動していただいていたら、ゴミ問題もこのような結果にはならなかったと思います。
<p>歴史のある、長い時間のかかっている問題というのは、解決が難しくなっていると思われれます。できるだけ早めに、そして未来に対してよい方向に解決するのを望みます。</p>
<p>「ゴミ処理場がもうすぐ使えなくなるよ」と小学生の時に学校で教わり、「じゃあその後はどうするんだろうね」と思ってから10年以上たちました。ごみ処理場が使えなくなったらどうするかということを考えると時間はたくさんあったはずなのに、どうして今こんなことになっているのでしょうか。私のような一市民がもっと市政に興味をもち、みんなで目を光らせていれば、なんとかなっていたのでしょうか。ごみ処理以外にも、階段が急すぎてけが人が続出するホールなど小金井市には問題が山積みですが、いつかとなりの府中市のような豊かな市になってほしいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみについて。まずは市内で責任をもって行う意志を他市に見せるべき。(ジャンメ跡地、または中間処理場等の利用はどうか?) ・庁舎について。駅前もつてのほか。ただでさえ財源に乏しい上に市議が高給であり、市民へのサービスが高いとは言えない中、駅近の好立地に市庁舎は不要！ 交流センターも税金のムダ遣い、ハコモノと思えて仕方がない。駅前には派出所があればそれでよい。 ・議員を減らして、ボーナス、給与も見直してほしい。まずは身を削って市民に誠意を見せてから、ごみ袋も高いし、いろいろ決められない姿勢を反省してほしい。駅前の工事は「見栄」にしか思えない。新聞に載るような市であることが恥ずかしい。

<p>12月の市長選挙は、ごみ処理を依頼している周辺の市を取り込んで、4月に落選した前市長の返り咲き作戦かと憶測してしまいました。小さな市では、ごみ処理の土地確保もなかなか難しいと思うので、小さな自治体のゴミ施設をどこか広い土地のある場所に数か所造るように、都政でできないものでしょうか。原発事故以降、政府が一番大切なことは隠す、公表しないということがわかったような気がします。</p>
<p>長年同じ問題を抱え続けるのはそれ自体問題。ごみや公共施設、早く結論を出してほしい。</p>
<p>昨年12月の市長選挙の投票率が低いことに市民として驚いております。市民が無関心であるために、今後のゴミ問題で他市町村から協力を得られることが難しくなると思う。</p>
<p>市長の責任も大きいですが、市議会議員も主体的に活動してほしい。</p>
<p>ごみ袋はもっと値上げしても良いが、不法投棄が増える懸念があり財源確保は容易ではないと思う。</p>
<p>私が小金井に移転してきたときに、ごみの分別の細かさに驚きました。今も変えていませんが、小金井の市民の方々はとても協力的だと思います。可燃ごみ、もやさないごみと袋を別々に買って入れています。少しでも違っていたら収集しません。付箋にこれは収集できませんと。もう少し僕は、付箋が親切に書いてあったらと思います。ごみのカレンダーも、ものによってわからないものもあります。</p>
<p>焼却場の建て替えを検討しないまま、12年間も先送りしていた市長が再び当選してしまう市民の選挙に対する意識の低さが理解できない。</p>
<p>また市役所庁舎も、大久保一族から賃借し続けていることも問題であるとする。これまで支払い続けた賃料を考えた場合、自前の庁舎がすでに建設できているのではないかの疑問もある。</p>
<p>さらに、ほとんど利用されない駅前ホールも問題であるとする。学生の勉強場所になっている現状を踏まえれば、図書館を造ったほうが市民の教養、学生の勉強場所提供等から税金の有効活用だったのではないか。</p>
<p>市役所には、今の小金井市に何が必要なのかよく考えたうえで、不要な経費の支出について改めてもらいたい。</p>
<p>市民交流センターは以前の市民公会堂に代わるもので、小金井市の所有と思っていた。この事実を知ってびっくり。東日本大震災以降の政府の無能さや、マスコミが真実を伝えないことにいらだちを覚える。昨今、身近な市政の問題など現状と真実はせめても伝えてほしいと思う。</p>
<p>主義主張も大事だと思いますが、皆が他者にもう少し思いやりを持ち、安心安全の地域社会ができることを心から願います。</p>
<p>ごみ処理場、米軍基地、核廃棄物、震災のがれきの行き場・・・NIMBYを乗り越えられるようなアイデアと、それを形にするためのみんなの気持ちや指揮をとる人材や・・・。みんなが何とかしなければならぬと思っていながら、自分の生活に追われてしまって何にも変わらず。こういう調査から何か見出せるとよいですね。</p>
<p>もっと真剣に討議すべき。ガラス張りとするべき。二枚橋ではなぜだめか。関係市への熱心なアプローチが必要。市議員は多すぎないか。市民のための政治をやっているとは思えない。</p>
<p>議員の歳費を公表すべき。歳費に見合った議員のみでよい。議員は普段市民の為に何をやっているのか(議会で賛成、反対だけではだめ。)</p>
<p>政治プロセスはコストを要する。これらのコストを地域社会がどう負担するのかをデザインすることが、これからの日本の社会的、経済的な課題である。</p>
<p>とにかく、ごみ問題と新市庁舎の問題をすっきりさせてほしい。ごみ処理場を第一に考えていただきたいです。</p>
<p>ごみ問題は市長の途中交代など、悪いニュースでばかり有名な街にいるのは、とても恥ずかしいと思っています。子供たちのためにも市政を立て直してほしいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現在小金井市には、ごみ処理施設建設に適する場がいくつあるのか。 ・ごみ処理に関する設備の技術は、どのくらい向上しているのか。市の中に処理設備を抱えることが小金井市にとって実現可能な状況なのか、本当のところを知りたい。選挙のたびにその手の情報は入るが、表面的な公約にしか映らない。 ・現市政も、なぜ建設を実行できないのかははっきり語るべき。市民の生活に真に必要なでもない？ 巨大な箱物で街を飾って図書館もない。片腹痛い。駅前の(駅含む)開発も目覚ましいものがあるが、わが手柄のように語る現市長には、早く若者にその手柄を渡してやってくれと言いたい。未来を見てほしい。
<p>前々回の市長選挙で、佐藤候補者のスローガン(マニフェスト)は問題になること間違いないと思われたが、ブレインはなぜそのことに気がつかなかったのか不思議に思う。佐藤候補者の本当の目的は何だったのかと考えた。</p>
<p>都政と市政の福祉の差。同じ東京都民なのに、23区に住んでいるか市に住んでいるかで、例えば子供の医療費に対する助成に不公平を感じます。我が家は3割負担、かたや区民はどれだけ収入があっても負担ゼロ。。</p>

<p>ごみ焼却炉を造ることに全員賛成するが、いざ造るとなると、自分のそばはいやだ。小金井には多摩川も、広い空地もない。これまでのいきさつは色々あるだろうが、ごみを減らすにも限界がある。近辺にお願いして、組合に入れていただくなり、お金を払って使わせていただくなりするしかない。</p>
<p>ごみ処理に関しては町民の考えが甘すぎるでしょう。わが身の近くが候補地になるとすぐ反対すれば、いつまでたっても処理場などできることはないでしょう。</p> <p>自分のことばかり考えるならば近隣の町々にも協力していただかなければならず、最後に泣くのは町民全部です。もう少し長い目で見ることと、町の為にという意味を持ってほしいです。</p> <p>知人などは、近所の処理場ができたならばお湯をわけていただき、のんびり生活したいという方もおります。</p>
<p>ゆとり教育等と軽い人間を造成するような馬鹿役人等、日本の国全体がうわべだけの軽々しい陽気集団になってしまった気がします。</p>
<p>選挙に興味がありません。</p>
<p>小金井に住み始めていまだに二年ほどで、目先の生活に追われて市政の歴史や現状を今現在あまり把握できておらず、投票なども自信を持って行っておりません。</p> <p>利権にとらわれない立場から話せる人に市政の勉強会等開いていただけると、これから関心を持ち始める私のようなものにも参加しやすいです。</p> <p>ですが、あまり期待もできないこととも思っています。</p>
<p>昨年のゴミ処理問題で小金井市のはずかしい状態がニュースでも取り上げられ、我々もごみ減量に尽力しましたが、市役所に行ってもいつも職員が暇そうにいつぱいいる割に、対応が悪くていつも不快です。もっと市役所等、市の施設もスリムになってほしいです。</p> <p>私はごみ処理場は絶対に小金井市内に造るべきで、時間がかかってもよいので全国に誇れるようなごみ処理場を造ってほしいです。それまでは近くの自治体にお金を払ってでもお願いするしかないし、我々もより減量に努力しなくてはならないと思っています。</p>
<p>市民参加について参加したくない理由。地元委員には審議会委員に推薦してもらい、一万円の謝礼にありつきながら居眠りしている人も見られる。意見も出さなくて報告書は荒い文書に絵に描いた餅ばかり。自己満足で紙がもったいない。</p> <p>市の行政について。公僕であることを自覚してない職員が多い。なかなか市民と同じ方向を見ようとしません。</p> <p>稲葉さんは仲間内を表彰し、肩書を与え名士に仕立てる。村社会のきずな、この甘えの構造は何とかならないのか。</p> <p>出直し市長選について。ほうき星のように現れた市長候補にすべてをゆだねた。佐藤市長は捨て石になってくれた。</p>
<p>市庁舎建設よりもごみ処理場建設の方が大事です。たとえ公園をつぶしてでも、可燃ごみ処理場は絶対に小金井市内に新設すべきです。</p> <p>全国でもごみ処理場がない市は聞いたことがありませんし、日本一今使っているごみ袋は高価だと思っていますが、我慢して使っています。</p>
<p>可燃ごみ処理は小金井住民として大切なことなので、個人としても極力ごみを出さないようにしたいと思います。</p>
<p>タウンミーティングの議事録をネットで見ていたとき、ほかの市も小金井市のゴミを受け入れることでうろおっている、そんなに卑下することは必要ないといったコメントがあった。本当に情けないし、現実的に困っていないからの発言だと思う。今、絆をいうことがテーマという日本で、他人を思いやり、配慮する心を持ってごみ問題に取り組んでもらいたい。</p>
<p>東小金井に引っ越して、とてもローカルな感じの駅だと思いましたが、最近すこし整ってきました。武蔵小金井はどんどん開発されていますが、東小金井はマンションも建てられないので仕方ないと思いますが、古い一戸建てが多く、お年寄りが多い感じです。</p> <p>商店街の店もお客さんが少ないのでしょうか、けっこうなくなっています。買い物は武蔵境や吉祥寺まで出たり、出前も東小金井でないピザ屋さんから。お弁当屋さんも次々になくなって不便だし、子育てするにもほかの地域と差があるなと思っています。</p>
<p>学校の役員をやる様なしっかりした人でも「有名人だから・・・」という理由で石原慎太郎とか、知られている人に投票することを知りびっくりしました。</p> <p>今回の小金井市長選も、なぜ佐藤さんが辞めざるを得なかったのか、なんでよくもないのに稲葉に戻るのか、稲葉の時にいい思いをした人が、勢力があるのか、または「知っている名前だから」という理由で投票するのか。まさか再び市長になるとは・・・。この際、ごみ問題をかたづけてもらいたいと思います。</p>

<p>小金井市は図書館が充実してないと思います。もう少し、広くて本の多い居心地の良い図書館を建設してほしいです。</p>
<p>ごみ問題等、市議会で過去にあった審議において、議会第一党の共産党などの反対で決定をみなかったものが、多数あるように承知している。現在、深刻な問題となって市長等行政が批判されている。市議等の利益誘導の実態、反対だけでなく達成した成果などの評価が第三者により公表されるシステムが必要と考える。</p>
<p>小金井のごみ問題は、プラスチック等は燃やすべきだと思います。それを洗うための水の汚染を考えると、燃やした方がよっぽどエコだと思います。結局汚いプラスチックは捨てているとのことです。そういったことも市民には知らせず、リサイクルという名のもとの悪循環でごみを増やしているだけです。それに日によって色々な場所の焼却炉をお借りしているのに、どこの焼却炉を使わせてもらっているのかも説明がないし、できれば何曜日にどこを使わせてもらっているのか、そういったこともお知らせしてほしいです。意味もわからずリサイクルをして、その内情を公開しない小金井市は最悪です。</p>
<p>ごみ焼却場が使用不可能となる事は前々から判っていたことであり、結果その通りとなり、今日に至るも解決に至っていない。誰が見ても、ごみ焼却場の問題は当市の最重要課題であり、市が成すべきことはわかりきっているはず。ここ一年で解決できないのであれば、何のための市政であるのか。むしろ他市との合併により、解決を図るという方法ではないのか。善良な市民として適切な行政サービスを受けているという認識がなく、何となく税金だけ払っているという感覚です。</p>
<p>新市庁舎及び焼却場は小金井市内に土地を確保し、建設すべきだと思います。他の市町村に依存していたのでは、いつまでたっても解決に至らないし、稲葉市長にそういう覚悟が全くないことが、今の現状に至ってしまっていると思います。駅前の再開発もある程度必要だとは思いますが、新庁舎やごみ焼却場の問題など優先順位をつけて取り組んでいけば、ゆくゆくは市民生活も円滑に営んでいけるし、市民の支持も得られるものと考えております。</p>
<p>ゴミ処理について何年も前からわかっていたのなら今更……</p>
<p>これからの少子化、人口減少等の状態から、女性の社会での多様な働き方が必要と考えているので、子育てしながら仕事ができるよう保育施設の充実を望みます。子育て支援もあった方がよいと思います。</p>
<p>1、ごみ処理は市民生活の基本。 2、小金井市職員の小金井在住者はどの程度の人数か。少ないのでは。 3、リース庁舎の早い時期の解消。</p>
<p>私は小金井市に長く住んでおりますが、市役所の職員組合が活発で、革新市長の時代に職種を問わず誰でも定員化をしました。人件費が増加し財政が悪化して、夕張の二の舞になりました。30年も前のことですが……稲葉市長は定員削減をして財政再建に努力していることは評価しますが、ごみ処理問題等……如何なものか……？</p> <p>また、市議もレベルが低い人が多いです。優秀な人が少ないと多数決の時代では仕方ありませんが……昔から地元の人が多く……市の将来計画ができていないで、現在に来ているような気がします。今問題になっている、ごみ処理、市役所建設、武蔵小金井駅南口開発、東小金井駅開発、本当に市民のことを考えているのか、市議の頭を？……商店街の人も真剣に考えないと市の発展がないような気がします。</p> <p>小金井市は財閥や資本家も少ないですが、中級階層が多いので生活に余裕があるのでは？……と思います。このような時代ですので、もちろん生活の厳しい方もいると思います。このようになったことは、私たちにも責任があります。選挙の投票率が低い、市政に無関心の人が多いのでは？ 民主主義の権利と義務だけを……</p> <p>今の国会議員の無責任さには、呆れて……政治家ではなく政治屋です。平和な時代が長く続き、国会議員をはじめ国民が平和ボケしています。</p> <p>大震災の3県、原発の被災者の方々がお気の毒です。原発は天災と人災で国は真剣に対処すべきです。復興債は若い世代に負担をかけることとなります。</p> <p>無能な国会議員を半分にして、その予算を3県に配分すれば、消費税の増額なぞ今議論しないで時間をかけてやればよいことです。900兆の赤字は誰が作ったのですか。会社では当の昔に倒産です。年金資金で建物を造り、赤字経営でただ同然で売却し、誰も責任は取らず、民間会社は大手、中小倒産当たり前、自分たちの関係するところは税金で面倒をみる、この様ではこれからの若い世代の人たちは生きる希望が無くなります。</p> <p>毎日のテレビで、虫けらのように人を刺殺しているニュースを見ると、私の時代では考えられないことです。第二次世界大戦で20代の青年が天皇万歳と叫んで敵艦に激突していった気持ちですが、今の国民に理解できますか？……本当に天皇万歳と叫んだ青年もいるでしょう。命の大切さを考えてほしいのです。私は住民投票や国民投票は嫌ですが、今の政治を見ていると、良識ある先生方や学者の方々に、国会の参院や定数問題、歳費、霞が関問題などを検討し新聞やテレビで報道して、国民が関心を持ち、選挙の時に投票した方がよいのではと思います。</p>

<p>川のほとりなどない小金井市では、ごみ処理施設を造る場所は少なく、現時点では不可能だと思います。しかし、実現が50年先だとしても、常にチャンスをつかかっていかなければならないと思います。市政を担う方がそういう人ならいいなと思います。</p>
<p>しがらみにとらわれることなく、小金井市のために過ちのない市政にあたっていただきたいと思います。</p>
<p>ごみ問題については議会の怠慢であり、武蔵小金井駅再開発を優先したからであり、市民にツケを回すことになっている。</p>
<p>ごみ処理に関しては、この狭く公園ばかりが大きな市内に焼却場を新設することは、よほど環境に配慮した高性能なものでなくてはならないので、財政から見ても厳しいと思う。</p> <p>また小金井市の市政については、市政の前に職員のケアレスミスの多さ、CSIに対する意識の低さからして問題だらけだと思う。あのような状況では、市民にとってもより良い環境になって本気で考えているとは思えないし、市政を任せる気にはなれない。政治については、政権交代したことで誰がやっても同じという考えが強くなったが、唯一よかったことは、民主党が政権を持っていたことで原発事故を今のところ、ある程度国民に正直に説明しているように思う。これが自民党だったら隠していたと思う。そう考えると恐ろしい。</p> <p>最後に私は、子供たちに希望を持てる未来を日本が作っていけるように、外国から信用されるリーダーの確立と野党のあり方を考えていってもらうことを望みます。</p>
<p>小金井市に住んで20年くらいになりますが、故郷に対する愛着はほとんどないです。そういうことが、市政に対する関心の低さになっているのだらうと思います。南口の開発も魅力を感じません。地方都市にありがちな大型店舗による街づくりは、不健康になる感じがします。しかし緑が多いのはいい点です。</p>
<p>社会や景気ももう少しよくなると政治に関心が持てません。民主党に代わっても自民党との足の引っ張りあい政策が決まらないことが多いので、どの政党になっても大差がないような気がします。</p>
<p>小金井市がよくなることは大いに賛成ですが、東日本大震災後の国の対応や、民主党のマニフェストの違いや、復興の遅れや、東電の対応などを見てるとすべて信用できなくなりました。私たちの一票で市政や国政が変わるのか。不信な気持ちでいっぱいです。</p>
<p>昨今の日本、世界を見ると、私たちは本当に考えなくてはいけないと思います。一人ひとりが今あるすべてのことに感謝することが社会を変えていくと思います。</p>
<p>ゴミ袋の値段は高すぎる。業者が市内で処理できないために金をとるなら、小金井市役所員が回収すればよい。椅子にふんぞりかえっている場合ではないだろう。頭を使って市民の為に働くべきだ。工夫しろと言いたい。もっと頭のよい人に市長になってほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ問題は全員の意見を聞こうとしても解決は無理。早々に市が方針を示し進めるべき。 ・小金井は学生の多い街。駅前の開発をもっと若者、ファミリー向けに思い切って行い、人が集まる街にしてほしい。 ・定期的に住民の意見を聞く調査を行うべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・新ゴミ処理施設の建設については市民検討委員会も立ち上げ、二枚橋跡地を候補地としたのに結局、実現不可能となった。市民説明会や検討委員会にかかった費用、参加者の割いた時間や労力がすべて無駄となった格好である。稲葉市長にはこの結果を重く受け止めて、せめて人脈を生かして他市の既存の清掃組合への加入を実現させてほしい。その際、国分寺市との約束はどうなるのかという新たな問題もあるが・・・。 ・本当ならば、政治のことは選ばれた専門家に任せて、自分たちは日常生活に専念したいが、政治家に任せておいて安心という感じがしない。国政も地方自治も。 ・佐藤前市長の辞職は本人の失言もあったかもしれないが、結局は多摩地区の他市長による外圧ではなかったのか？ 市民が前市長を支えきれず、1年間に2度も市長選を実施する事態になったのは残念だ。ただでさえ赤字なのに、二度の市長選でまた余計なお金を使うことにもなった。
<p>・ごみ問題は久保、稲葉氏と長らく続いてきた方々が解決すべき問題だったと考えます。佐藤氏がそれを批判して他市への業務委託費をムダといったのは、市長選においては当然のこと。それを市議会がかばうわけでもなく、全国紙で批判され、市として恥ずかしい限りでした(他市も言葉尻を捉えて大人げなし。)。票が割れてしまい、稲葉氏が返り咲きましたが、その後の活動が見えてきません。市民がもっと能動的になれば良い方向に動くのでしょうか・・・なんともです。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1、現市長が当選後、ごみ問題について何をやったのか報告がない。 2、市議会が同じく、ごみ問題について何をしたかわからない。 3、月に1回の市政の報告会を市長と市議はやるべき。 4、市報は結果報告だけでなく、これから何をしようとしているのかを書いてほしい。
<p>自治に関する問題には、地域性が色濃く反映されていると思います。市民運動に「プロ」が活躍している地域はいかがかと。</p>

ごみ問題がこんなに深刻とは知らず、最近ニュースになって知りました。もっと早く手を打つべきだったのでは。

市民交流センターも期待していたが、がっかり。大ホールとは名ばかりで、収容人数が少なすぎ。学校行事で収容人数が少なく使えない。学校などが使うときは使用料、予約の取り方など考慮すべき。何のために市内に造ったのか。職員の方々も前と比べてよくなったが、事務的。

引っ越しでごみ問題を見たとき驚きました。小金井にがっかりした記憶があり、その問題には関心がありましたので、選挙は子供にも進んでいくよう促しました。結果、選挙には行くようになりましたが、ほか色々な問題があることにさらに驚いたのが本音です。

武蔵小金井駅北口開発。コンビニくらい作ってほしい。

他区に住んでいる友人たちと話をすると、さまざまな部分で大きな違いがありました。ごみだけでなく、特に高齢者に対しての差を感じます。収入の大小はあると思いますが、やはり無駄が多いのではないかと感じます。きちんと責任を持って市政を行ってほしいと思います。

ごみ問題、市役所移転の問題、見ていても全く前進なし。地主と利権者と役所が深く悪く結びついており、住民の利益を広く考える人は誰もいない。住民投票が実施されなかったのがよい例といえよう。この市へ引っ越してきて一年だが、呆れることばかり。早く出たい。日本有数の高額な市民税を払っているながら、ごみ処理施設一つ建てられない。税金を払っている意味がないと思う。

謝辞

今回の調査実施にあたっては、多くの方々からのご助力をいただいた。「中央大学」のロゴ入り封筒の使用に際してご協力くださった中央大学広報室をはじめ、調査実施にあたって様々なご協力・ご助言をいただいた多くの方に、心より感謝の意を申し上げます。